

信仰と希望

・わざに従って公平にさばりか  
れる方を朽れる。

朽ちることと消えて行くこととは異なる

御霊の聖み

選ばれた人々

朽

たまいに清め

贖い出された

×朽ちるもの

→ 亡ない生きながら贖い出された。

救い。

救われ

死者の中からはみが残り・生ける望み

416

ペテロ I 1. 14

ペテロ I 1. 13

415

ペテロの手紙 第一

選ばれた人々

預言者は

信仰の試練

新獲  
栄光  
栄誉。

信仰の  
結果

真理に従うこと

14 従順な子どもとなり、以前あなたがたが無知であつたときのさまざまな欲望に従つた。  
15 あなたがたを召してくださった聖なる方にならなつて、あなたがた自身も、あらゆる行ないにおいて聖なるものとされなさい。  
16 それは、「わたしは聖であるから、あなたがたも聖でなければならぬ」と書いてあるからです。  
17 また、人をそれぞれのわざに従つて公平にさばかれる方を父と呼んでいるのなら、あなたがたが地上にしばらくとどまつている間の時を、恐れかしこんで過ごさなさい。  
18 ご承知のように、あなたがたが先祖から伝わつたむなしき生きながら贖い出されたのは、銀や金のような朽ちる物にはならず、  
19 傷もなく汚れもない小羊のようなキリストの、尊い血によつたのです。  
20 キリストは、世の始まる前から知られていました。が、この終りの時に、あなたがたのために、現われてくださったのです。  
21 あなたがたは、死者の中からこのキリストをよみがえらせて彼に栄光を与えられた神を、キリストによつて信じる人々です。このようにして、あなたがたの信仰と希望は神にかかっているのです。  
22 あなたがたは、真理に従うことによって、たましいを清め、偽りのない兄弟愛を抱くようになったので

「わたしが聖なる方からよみがえられた。聖でなければならぬ。」

恵みの待ち望み。

「新しく生れた。」

兄弟愛

朽ちない種。

変な神の御霊

聖なる方

聖

福音のことば

23 あなたがたが新しく生まれたのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種からであり、生ける、いつまでも変わるものではない。神のことばによるのです。  
24 「人はみな草のようで、その栄えは、みな草の花のようだ。草はしおれ、花は散る。  
25 しかし、主のことばは、どこしえに変わることがない。あなたがたに宣べ伝えられた福音のことばがこれです。  
26 ですから、あなたがたは、すべての悪意、すべてのごまかし、いろいろな偽善やねたみ、すべての悪口を捨て、  
27 生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な心とばの乳を慕い求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです。  
28 あなたがたはすでに、主がいつくしみ深い方であることを味わっているのです。  
29 主のものと来なさい。主は、人には捨てられ、神の目には、選ばれた、尊い、生ける石です。  
30 あなたがたも生ける石として、霊の家に築き上げられなさい。そして、聖なる祭司として、イエス・キリストを通して、神に喜ばれる霊のいけにえをささげなさい。

2

イザヤ40章

13 ① イエス・キリストの御霊が、  
② イエス・キリストの御霊が、  
③ イエス・キリストの御霊が、  
④ イエス・キリストの御霊が、  
⑤ イエス・キリストの御霊が、  
⑥ イエス・キリストの御霊が、  
⑦ イエス・キリストの御霊が、  
⑧ イエス・キリストの御霊が、  
⑨ イエス・キリストの御霊が、  
⑩ イエス・キリストの御霊が、  
⑪ イエス・キリストの御霊が、  
⑫ イエス・キリストの御霊が、  
⑬ イエス・キリストの御霊が、  
⑭ イエス・キリストの御霊が、  
⑮ イエス・キリストの御霊が、  
⑯ イエス・キリストの御霊が、  
⑰ イエス・キリストの御霊が、  
⑱ イエス・キリストの御霊が、  
⑲ イエス・キリストの御霊が、  
⑳ イエス・キリストの御霊が、  
㉑ イエス・キリストの御霊が、  
㉒ イエス・キリストの御霊が、  
㉓ イエス・キリストの御霊が、  
㉔ イエス・キリストの御霊が、  
㉕ イエス・キリストの御霊が、  
㉖ イエス・キリストの御霊が、  
㉗ イエス・キリストの御霊が、  
㉘ イエス・キリストの御霊が、  
㉙ イエス・キリストの御霊が、  
㉚ イエス・キリストの御霊が、  
㉛ イエス・キリストの御霊が、  
㉜ イエス・キリストの御霊が、  
㉝ イエス・キリストの御霊が、  
㉞ イエス・キリストの御霊が、  
㉟ イエス・キリストの御霊が、  
㊱ イエス・キリストの御霊が、  
㊲ イエス・キリストの御霊が、  
㊳ イエス・キリストの御霊が、  
㊴ イエス・キリストの御霊が、  
㊵ イエス・キリストの御霊が、  
㊶ イエス・キリストの御霊が、  
㊷ イエス・キリストの御霊が、  
㊸ イエス・キリストの御霊が、  
㊹ イエス・キリストの御霊が、  
㊺ イエス・キリストの御霊が、  
㊻ イエス・キリストの御霊が、  
㊼ イエス・キリストの御霊が、  
㊽ イエス・キリストの御霊が、  
㊾ イエス・キリストの御霊が、  
㊿ イエス・キリストの御霊が、

純粋な  
神のみことば。

神に喜ばれる霊のいけにえ  
をささげなさい。

変な神の御霊のことば

聖霊。

愛

たましいの救い。

1 イエス・キリストの使徒ペテロから、ポント、ガラテヤ、カパドキヤ、アジア、ビテニヤに散つて寄留している、選ばれた人々、すなわち、  
2 父なる神の預知に従い、御霊の聖みによって、イエス・キリストに従うように、またその血の注ぎかけを受けるように選ばれた人々へ。どうか、恵みと平安が、あなたがたの上にますます豊かにされますように。  
3 私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたえられ、イエス・キリストが死者の中からよみがえられたことによつて、私たちが新しく生まれさせて、生ける望みを持つようになさうと願っています。  
4 また、朽ちることも汚れることも、消えて行くこともない資産を受け継ぐようにしてくださいました。これはあなたがたのために、天にたくわえられていたのです。  
5 あなたがたは、信仰により、神の御力によつて守られており、終わりの時に現わされるように用意されている救いをいただくのです。  
6 そういうわけで、あなたがたは「大いに喜んでいまは、しばらくの間、さまざまな試練の中で、

悲しまなければならぬのですが、  
7 信仰の試練は、火を通して精練されてもお朽ちて行く金よりも尊いのであって、イエス・キリストの現われのときに称賛と栄光と栄誉に至るものであることがわかります。  
8 あなたがたはイエス・キリストを見たことはないけれども愛しており、いま見てはいないけれども信じており、ことばに尽くすことのできない、栄えに満ちた喜びにおどっています。  
9 これは、信仰の結果である、たましいの救いを得ていくからです。  
10 この救いについては、あなたがたに対する恵みについて預言した預言者たちも、熱心に尋ね、細かく調べました。  
11 彼らは、自分たちのうちにおられるキリストの御霊が、キリストの苦難とそれに続く栄光を前もってあかしされたとき、だれを、また、どのような時をさして言われたのかを調べたのです。  
12 彼らは、それらのことが、自分たちのためではなく、あなたがたのための奉仕であるとの啓示を受けました。そして今や、それらのことは、天から送られた聖霊によつてあなたがたに福音を語つた人々を通して、あなたがたに告げ知らされたのです。それは御使いたちもはっきり見たいと願っていることなのです。  
13 ですから、あなたがたは、心を引き締め、身を慎み、イエス・キリストの現われのときあなたがたにも

① ロマノス、  
② テモチモテオス、  
③ テモチモテオス、  
④ テモチモテオス、  
⑤ テモチモテオス、  
⑥ テモチモテオス、  
⑦ テモチモテオス、  
⑧ テモチモテオス、  
⑨ テモチモテオス、  
⑩ テモチモテオス、  
⑪ テモチモテオス、  
⑫ テモチモテオス、  
⑬ テモチモテオス、  
⑭ テモチモテオス、  
⑮ テモチモテオス、  
⑯ テモチモテオス、  
⑰ テモチモテオス、  
⑱ テモチモテオス、  
⑲ テモチモテオス、  
⑳ テモチモテオス、  
㉑ テモチモテオス、  
㉒ テモチモテオス、  
㉓ テモチモテオス、  
㉔ テモチモテオス、  
㉕ テモチモテオス、  
㉖ テモチモテオス、  
㉗ テモチモテオス、  
㉘ テモチモテオス、  
㉙ テモチモテオス、  
㉚ テモチモテオス、  
㉛ テモチモテオス、  
㉜ テモチモテオス、  
㉝ テモチモテオス、  
㉞ テモチモテオス、  
㉟ テモチモテオス、  
㊱ テモチモテオス、  
㊲ テモチモテオス、  
㊳ テモチモテオス、  
㊴ テモチモテオス、  
㊵ テモチモテオス、  
㊶ テモチモテオス、  
㊷ テモチモテオス、  
㊸ テモチモテオス、  
㊹ テモチモテオス、  
㊺ テモチモテオス、  
㊻ テモチモテオス、  
㊼ テモチモテオス、  
㊽ テモチモテオス、  
㊾ テモチモテオス、  
㊿ テモチモテオス、



418  
6 なぜなら、聖書にこうあるからです。  
「見よ。わたしはシオンに、選ばれた石、  
尊い礎石を置く。  
彼に信頼する者は、  
決して失望させられることがない。」  
7 したがって、より頼んでいるあなたがたには、  
「家」を  
建てる者たちが、捨てた石、それが礎の石となった。  
8 であって、  
9 つまずきの石、妨げの岩なのです。彼らがつま  
ずくのは、みことばに従わないからです。またそう  
なるように定められていたのです。  
10 しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭  
司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、  
あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の  
中に招いてくださった方へのすばらしいみわざを、あな  
たがたが宣べ伝えるためなのです。  
11 あなたがたは、以前は神の民ではなかったのに、今  
は神の民であり、以前はあわれみを受けない者であっ  
たのに、今はあわれみを受けた者です。  
12 愛する者たちよ。あなたがたにお勧めします。旅  
人であり、寄留者であるあなたがたは、たましいに戦い  
をいどむ肉の欲を遠ざけなさい。  
13 異邦人の中であって、りっぱにふるまいなさい。そ  
うすれば、彼らは、何かのことであなたがたを悪人呼  
ばわりしていても、あなたがたのそのりっぱな行ない

奇留者である。  
正しき者が来る  
たほいの牧者。  
兄弟愛  
罪

神の民  
おそれ深く  
正しい行い。  
謙遜

神の民である。  
善×10

祝福  
謙遜: 14  
ロマ: 14  
ペテロ: 10

14 また、悪を行なう者を罰し、善を行なう者をほめる  
ように王から遣わされた総督であっても、そうしな  
さい。  
15 というのは、善を行なって、愚かな人々の無知の口  
を封じることが、神のみことばからです。  
16 あなたがたは自由人として行動しなさい。その自由  
を、悪の口実に用いないで、神の奴隷として用いな  
さい。  
17 すべての人を敬いなさい。兄弟たちを愛し、神を恐  
れ、王を尊びなさい。  
18 しもべたちよ。尊敬の心を込めて主人に服従しな  
さい。善良で優しい主人に対してだけでなく、横暴な  
主人に対しても従いなさい。  
19 人がもし、不当な苦しみを受けながらも、神の前に  
おける良心のゆえに、悲しみをこらえるなら、それは  
喜ばれることです。  
20 罪を犯したために打ちたたかれて、それを耐え忍ん  
だからといって、何の善れになるでしう。けれども、  
善を行なっていて苦しみを受け、それを耐え忍ぶとし  
たら、それは、神に喜ばれることです。  
21 あなたがたが召されたのは、実にそのためです。キ  
リストも、あなたがたのために苦しみを受け、その足

を見て、おとずれの日に神をほめたたえるようになり  
ます。  
13 人の立てたすべての制度に、主のゆえに従いな  
さい。それが主権者である王であっても。  
14 また、悪を行なう者を罰し、善を行なう者をほめる  
ように王から遣わされた総督であっても、そうしな  
さい。  
15 というのは、善を行なって、愚かな人々の無知の口  
を封じることが、神のみことばからです。  
16 あなたがたは自由人として行動しなさい。その自由  
を、悪の口実に用いないで、神の奴隷として用いな  
さい。  
17 すべての人を敬いなさい。兄弟たちを愛し、神を恐  
れ、王を尊びなさい。  
18 しもべたちよ。尊敬の心を込めて主人に服従しな  
さい。善良で優しい主人に対してだけでなく、横暴な  
主人に対しても従いなさい。  
19 人がもし、不当な苦しみを受けながらも、神の前に  
おける良心のゆえに、悲しみをこらえるなら、それは  
喜ばれることです。  
20 罪を犯したために打ちたたかれて、それを耐え忍ん  
だからといって、何の善れになるでしう。けれども、  
善を行なっていて苦しみを受け、それを耐え忍ぶとし  
たら、それは、神に喜ばれることです。  
21 あなたがたが召されたのは、実にそのためです。キ  
リストも、あなたがたのために苦しみを受け、その足

善を行って苦しみを受け  
ことについて。  
しもべたちよ。主人に服従しなさい。善を行なうこと  
が、神の民の敬いである。

善を行って苦しみを受け  
ことについて。  
しもべたちよ。主人に服従しなさい。善を行なうこと  
が、神の民の敬いである。

神の御前に価値のあるもの。

朽ちることのないもの  
Acts×6  
1コリ×6  
悪行者  
愚かな人々。

夫妻。  
カラ. アブラハム

夫婦。  
林の果。  
祈り。  
服従。従いと。  
謙遜。  
兄弟愛  
祝福  
謙遜: 14  
ロマ: 14  
ペテロ: 10



御美



真似はいい!

兄弟、同労者、単独

悲しみ

悔い

へりくだる 従順

十字架

十字架に死なされた方

(十字架に死なされた方)

ピリピ 3. 8

30 なぜなら、彼は、キリストの仕事のために、いのちの危険を冒して死ぬばかりになったからです。彼は私

さいます。

29 ですから、喜びにあふれて、主にあって、彼を迎えてください。また、彼のような人々には、尊敬を払いな

す。

28 そこで、私は大急ぎで彼を送ります。あなたがたが彼に再び会って喜び、私も心配が少なくなるため

です。

27 ほんとうに、彼は死ぬほどの病気にかかりましたが、神は彼をあわれんでくださいました。彼ばかりでなく、私をもあわれんで、私にとって悲しみに悲しみが重なる

ことのないようにしてくださいました。

26 ですから、私は大急ぎで彼を送ります。あなたがたが彼に再び会って喜び、私も心配が少なくなるため

です。

25 しかし、私の兄弟、同労者、戦友、またあなたがたの使者として私の窮乏のときに仕えてくれた人エパフ

ロデトは、あなたがたのところに送らねばならないと

思っています。

24 しかし私自身も近いうちに行けることと、主にあって確信しています。

23 ですから、私のことがどうなるかがわかりしだい、彼を遣わしたいと望んでいます。

22 しかし、テモテのりっぱな働きぶりは、あなたがたの知っているところで、手が父に仕えるようにして、彼は私といっしょに福音に奉仕して来しました。

21 ですから、私のことがどうなるかがわかりしだい、彼を遣わしたいと望んでいます。

20 テモテのように、私がいるときだけでなく、私のいない今はなおさら、恐れおのいて自分の救いを達成

353

352

ピリピ 2. 3

てくださいます。

3 何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いな

さいます。

4 自分のことだけでなく、他の人のことも願みなさい。

5 あなたがたの間では、そのような心構えでいなさい。それはキリスト・イエスのうちにも見られるもの

です。

してください。

13 神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行なわせてくださるのです。

14 すべてのことを、つぶやかず、疑わずに行ないなさい。

15 それは、あなたがたが、非難されるところのない純真な者となり、また、曲がった邪惡な世代の中であつて傷のない神の子どもとなり、

16 いのちのことはしっかりと握って、彼らの間で世の光として輝くためです。そうすれば、私は、自分の努力したことがむだではなく、苦労したこともむだでなかつたことを、キリストの日に誇ることができま

す。

30 ①ピリピ 1:1-11

31 ②ピリピ 1:12-26

32 ③ピリピ 1:27-30

33 ④ピリピ 2:1-11

34 ⑤ピリピ 2:12-18

35 ⑥ピリピ 2:19-24

36 ⑦ピリピ 2:25-28

37 ⑧ピリピ 2:29-35

38 ⑨ピリピ 3:1-7

39 ⑩ピリピ 3:8-16

40 ⑪ピリピ 3:17-20

21 けれどもみな自分自身のことを求めるだけで、キリスト・イエスのことを求めてはいません。

20 テモテのように私と同じ心になって、真実にあなたがたのことを心配している者は、ほかにだれもいないからです。

19 しかし、私もあなたがたのことを知って励ましを受けたので、早くテモテをあなたがたのところに送りたいて、主イエスにあって望んでいます。

18 あなたがたも同じように喜んでください。私といっしょに喜んでください。

17 たとい私が、あなたがたの信仰の供え物と礼拝とともに、注ぎの供え物となっても、私は喜びます。あなたがたすべてとともに喜びます。

16 いのちのことはしっかりと握って、彼らの間で世の光として輝くためです。そうすれば、私は、自分の努力したことがむだではなく、苦労したこともむだでなかつたことを、キリストの日に誇ることができま

す。

15 それは、あなたがたが、非難されるところのない純真な者となり、また、曲がった邪惡な世代の中であつて傷のない神の子どもとなり、

14 すべてのことを、つぶやかず、疑わずに行ないなさい。

13 神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行なわせてくださるのです。

12 ですから、私は大急ぎで彼を送ります。あなたがたが彼に再び会って喜び、私も心配が少なくなるため

です。

11 ですから、私は大急ぎで彼を送ります。あなたがたが彼に再び会って喜び、私も心配が少なくなるため

です。

10 ですから、私は大急ぎで彼を送ります。あなたがたが彼に再び会って喜び、私も心配が少なくなるため

です。

3

1 最後に、私の兄弟たち。主にあって喜びなさい。前と同じことを書きますが、これは、私には煩わしいことではなく、あなたがたの安全のためにもなることです。

2 どうか犬に気をつけてください。悪い働き人に気をつけてください。肉体だけの割礼の者に気をつけてください。

3 神の御霊によって礼拝をし、キリスト・イエスを誇り、人間的なものを頼みにしない私たちのほうこそ、割礼の者なのです。

4 ただし、私は、人間的なものにおいても頼むところがあります。もし、ほかの人が人間的なものに頼むところがあると思うなら、私は、それ以上です。

5 私は八日目の割礼を受け、イスラエル民族に属し、ベニヤミンの分かれの者です。きつすいのヘブル人で、律法についてはパリサイ人、

6 その熱心は教会を迫害したほどで、律法による義についてならば非難されるような者です。

7 しかし、私にとって得であったこのようなものをみな、私はキリストのゆえに、損と思うようになりました。

8 それどころか、私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすばらしさゆえに、いさかいのことを損と思っています。私はキリストのためにすべての

人間的

× 肉体。 〇 霊性。

人間的な 人間的なもの 霊性 人間的なものに 犬と心の中

犬に与っている。 人間的なものの 霊性

兄弟、同労者、単独



④ 得る教

ピリピ 4. 19

か。私の同労者たちとともに、福音を広めることで私に協力して戦ったのです。

4 いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。

5 あなたがたの寛容な心を、すべての人に知らせなさい。主は近いのです。

6 何も思い煩わぬで、あらゆるばあいに、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。

7 そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。

8 最後に、兄弟たち。すべての真実なこと、すべての誉れあること、すべての正しいこと、すべての清いこと、すべての愛すべきこと、すべての評判の良いこと、そのほか徳と言われること、称賛に値することがあるならば、そのようなことに心を留めなさい。

9 あなたがたが私から学び、受け、聞き、また見たことを実行しなさい。そうすれば、平和の神があなたがたとともにいてくださいます。

10 私のことを心配してくれるあなたがたの心が、今ついによみがえて来たことを、私は主にあって非常に喜んでいきます。あなたがたは心にかけてはいたのですが、機会がなかったのです。

11 之しからこう言うではありません。私は、どんな境遇にあっても満ち足りることを学びました。

355

誠心

福立日

道

354

14 キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の  
栄冠を得るために、目標を目ざして一心に走っている  
のです。

15 ですから、成人である者はみな、このような考え方  
をしましょう。もし、あなたがたがどこかでこれと違  
った考え方をしているなら、神はそのこともあなたが  
たに明らかにしてください。

ものを捨てて、それらをちりあぐたと思っています。  
それは、私には、キリストを得、また、キリストの中にある者と認められ、律法による自分の義ではなくて、キリストを信じる信仰による義すなわち、信仰に基づいて、神から与えられる義を持つことができる、という望みがあるからです。  
10 私は、キリストとその復活の力を知り、またキリストの苦しみにあずかることも知って、キリストの死と同じ状態になり、  
11 どうにかして、死者の中からの復活に達したいのです。  
12 私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にされていられるのでもありません。ただ捕えようとして、追求しているのです。そしてそれを得るようにとキリスト・イエスが私を捕えてくださったのです。  
13 兄弟たちよ。私は、自分はずでに捕えたと考えてはいません。ただ、この一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、

ピリピ 3.9

A. 1-6  
B. 7-12  
B. 13-16  
A. 17-21

12 私は負しさの中にいる道も知っており、豊かさの中にいる道も知っています。また、飽くことにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、あらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。

13 私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。

14 それにしても、あなたがたは、よく私と困難を分け合ってください。

15 ビリビの人たち。あなたがたも知っているとおり、私が福音を宣べ伝え始めたころ、マケドニヤを離れて行ったときには、私の働きのために、物をやり取りしてくれた教会は、あなたがたのほかには一つもありませんでした。

16 テサロニケにいたときでさえ、あなたがたは一度ならず二度までも物を送って、私の乏しさを補ってくれました。

17 私は贈り物を求めているわけではありません。私のほしくするのは、あなたがたの収支を償わせて余りある霊的祝福なのです。

18 私は、すべての物を受けて、満ちあふれています。エパフロデトからあなたがたの贈り物を受けたので、満ち足りています。それは香ばしいかおりであって、神が喜んで受けてくださる供え物です。

19 また、私の神は、キリスト・イエスにあるご自身の栄光の雲をもって、あなたがたの必要をすべて満たしてくださいます。

[illegible]

25

Part 1

16 それはそれとして、私たちはすでに達しているところを基準として、進むべきです。

17 兄弟たち、私を見ならう者になってください。まだ、あなたがたと同じように私たちを手本として歩んでいる人たちに、目を留めてください。

18 というのは、私はしばしばあなたがたに言ってきたように、今も涙をもって言うのですが、多くの人々がキリストの十字架の敵として歩んでいるからです。

19 彼らの最後は滅びです。彼らの神は彼らの欲望であり、彼らの栄光は彼ら自身の恥なのです。彼らの思いは地上のことだけです。

20 けれども、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。

21 キリストは、万物をご自身に従わせることのできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じ姿に変えてくださるのです。

4

1 そういうわけですから、私の愛する兄弟たち、私の喜び、冠よ。どうか、このように主にあってしっかりと立ててください。私の愛する人たち。

2 ユオデヤに勧め、セントケに勧めます。あなたたちには、主にあって、致してください。

3 ほんとうに、真の協力者よ。あなたにも頼みます。彼女たちを助けてやってください。この人たちは、いのちの書に名のしるされているクレメンスや、その他の

十字架又啟

[illegible]

第5212113  
喜洋洋  
1012 1011 1010

平均が共53  
7+9

私はバツ2の恋愛にて  
満ちあふれた  
エロティックな恋愛がたの贈り物  
最後はバツ2!

次原

大姓に大姓  
喜んだけれど  
うまいに!

何也喜に

疑托个字

三  
二  
九

一七

二・

• 11

10/10/10

大正







13

1 さて、過越の祭りの前に、この世の時が来たことを知られたので、世にいる自分のものを愛されたイエスは、その愛を残るところなく示された。

2 夕食の間のことであった。悪魔はすでにシモンの子イスカリオテ・ユダの心に、イエスを売ろうとする思いを入れていたが、  
3 イエスは、父が万物を自分の手に渡されたこと、ご自分が父から来て父に行くことを知られ、  
4 夕食の席から立ち上がって、上着を脱ぎ、手ぬぐいを取って腰にまとわれた。  
5 それから、たらいに水を入れ、弟子たちの足を洗って、腰にまとっておられる手ぬぐいで、ふき始められた。

6 こうして、イエスはシモン・ペテロのところに来られた。ペテロはイエスに言った。「主よ。あなたが、私の足を洗ってくださいののですか。」  
7 イエスは答えて言われた。「わたしがしていることは、今はあなたにはわからないが、あとでわかるようになります。」

8 ペテロはイエスに言った。「決して私の足をお洗いにしないでください。」イエスは答えられた。「もしわたしが洗わなければ、あなたはわたしと何の関係もありません。」  
9 シモン・ペテロは言った。「主よ。私の足だけでな

る者が、わたしに向かってかかとを上げた。」と書いてあることは成就するのです。  
19 わたしは、そのことが起こる前に、今あなたがたに話しておきます。そのことが起こったときに、わたしがその人であること、あなたがたが信じるためです。  
20 まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしの遣わす者を受け入れる者は、わたしを受け入れるのです。わたしを受け入れる者は、わたしを遣わした方を受け入れるのです。」

21 イエスは、これらのことを話されたとき、霊の激動を感じ、あかしして言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。あなたがたのうちのひとりが、わたしを裏切ります。」  
22 弟子たちは、だれのことを言われたのか、わからずに当惑して、互いに顔を見合わせていた。  
23 弟子のひとり、イエスが愛しておられた者が、イエスの右側で席に着いていた。

24 そこで、シモン・ペテロが彼に合図をして言った。「だれのことを言っておられるのか、知らせなさい。」  
25 その弟子は、イエスの右側で席に着いたまま、イエスに言った。「主よ。それはだれですか。」  
26 イエスは答えられた。「それはわたしがパン切れを浸して与える者です。」それからイエスはパン切れを浸し、取って、イスカリオテ・シモンの子ユダにお与えになった。

27 彼がパン切れを受けると、そのとき、サタンが彼に

く、手も頭も洗ってください。」  
10 イエスは彼に言われた。「水浴した者は、足以外は洗う必要がありません。全身きよいのです。あなたがたはきよいのですが、みながそうではありません。」  
11 イエスはご自分を裏切る者を知っておられた。それで、「みながきよいのではない。」と言われたのである。  
12 イエスは、彼らの足を洗い終わって、上着を着けて、再び席に着いて、彼らに言われた。「わたしがあなたがたに何をしたか、わかりますか。」  
13 あなたがたはわたしを先生とも主とも呼んでいます。あなたがたがそう言うのはよい。わたしはそのよい者だからです。

14 それで、主であり師であるこのわたしが、あなたがたの足を洗ったのですから、あなたがたもまた互いに足を洗い合うべきです。  
15 わたしがあなたがたに示したとおりに、あなたがたもするよう、わたしはあなたがたに模範を示したので

16 まことに、まことに、あなたがたに告げます。しもべはその主人にまさらず、遣わされた者は遣わした者にまさるものではありません。  
17 あなたがたがこれらのことを知っているのなら、それを行なうときに、あなたがたは祝福されるのです。  
18 わたしは、あなたがた全部の者について言っているのではありません。わたしは、わたしが選んだ者を知っています。しかし聖書に「わたしのパンを食べてい

はいつた。そこで、イエスは彼に言われた。「あなたがたは互いに愛し合いなさい。」  
28 席に着いている者で、イエスが何のためにユダにそう言われたのか知っている者は、だれもなかった。  
29 ユダが金入れを持っていたので、イエスが彼に「祭りのために入用の物を買え。」と言われたのだから、まりのために入用の物を買え。」と言われたのだから、だとか思った者も中にはいた。  
30 ユダは、パン切れを受けるとすぐ、外に出て行った。すでに夜であった。

31 ユダが出て行ったとき、イエスは言われた。「今こそ人の子は栄光を受けました。また、神は人の子によって栄光をお受けになりました。」  
32 神が、人の子によって栄光をお受けになったのであれば、神も、ご自身によって人の子に栄光をお与えになります。しかも、ただちにお与えになります。  
33 子どもたちよ。わたしはいましばらくの間、あなたがたといっしょにいます。あなたがたはわたしを捜すでしょう。そして、わたしが行く所へは、あなたがたは来ることができない。」とわたしはユダヤ人たちに言ったように、今はあなたがたにも言うのです。

34 あなたがたに新しい戒めを与えましょう。あなたがたは互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、そのように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。  
35 もしあなたがたの互いの間に愛があるなら、それに

互いに愛し合いなさい。

- 1 ①ヨハ 13:27-28、29、30、31、32、33、34、35、36、37、38、39、40、41、42、43、44、45、46、47、48、49、50、51、52、53、54、55、56、57、58、59、60、61、62、63、64、65、66、67、68、69、70、71、72、73、74、75、76、77、78、79、80、81、82、83、84、85、86、87、88、89、90、91、92、93、94、95、96、97、98、99、100、101、102、103、104、105、106、107、108、109、110、111、112、113、114、115、116、117、118、119、120、121、122、123、124、125、126、127、128、129、130、131、132、133、134、135、136、137、138、139、140、141、142、143、144、145、146、147、148、149、150、151、152、153、154、155、156、157、158、159、160、161、162、163、164、165、166、167、168、169、170、171、172、173、174、175、176、177、178、179、180、181、182、183、184、185、186、187、188、189、190、191、192、193、194、195、196、197、198、199、200、201、202、203、204、205、206、207、208、209、210、211、212、213、214、215、216、217、218、219、220、221、222、223、224、225、226、227、228、229、230、231、232、233、234、235、236、237、238、239、240、241、242、243、244、245、246、247、248、249、250、251、252、253、254、255、256、257、258、259、260、261、262、263、264、265、266、267、268、269、270、271、272、273、274、275、276、277、278、279、280、281、282、283、284、285、286、287、288、289、290、291、292、293、294、295、296、297、298、299、300、301、302、303、304、305、306、307、308、309、310、311、312、313、314、315、316、317、318、319、320、321、322、323、324、325、326、327、328、329、330、331、332、333、334、335、336、337、338、339、340、341、342、343、344、345、346、347、348、349、350、351、352、353、354、355、356、357、358、359、360、361、362、363、364、365、366、367、368、369、370、371、372、373、374、375、376、377、378、379、380、381、382、383、384、385、386、387、388、389、390、391、392、393、394、395、396、397、398、399、400、401、402、403、404、405、406、407、408、409、410、411、412、413、414、415、416、417、418、419、420、421、422、423、424、425、426、427、428、429、430、431、432、433、434、435、436、437、438、439、440、441、442、443、444、445、446、447、448、449、450、451、452、453、454、455、456、457、458、459、460、461、462、463、464、465、466、467、468、469、470、471、472、473、474、475、476、477、478、479、480、481、482、483、484、485、486、487、488、489、490、491、492、493、494、495、496、497、498、499、500、501、502、503、504、505、506、507、508、509、510、511、512、513、514、515、516、517、518、519、520、521、522、523、524、525、526、527、528、529、530、531、532、533、534、535、536、537、538、539、540、541、542、543、544、545、546、547、548、549、550、551、552、553、554、555、556、557、558、559、560、561、562、563、564、565、566、567、568、569、570、571、572、573、574、575、576、577、578、579、580、581、582、583、584、585、586、587、588、589、590、591、592、593、594、595、596、597、598、599、600、601、602、603、604、605、606、607、608、609、610、611、612、613、614、615、616、617、618、619、620、621、622、623、624、625、626、627、628、629、630、631、632、633、634、635、636、637、638、639、640、641、642、643、644、645、646、647、648、649、650、651、652、653、654、655、656、657、658、659、660、661、662、663、664、665、666、667、668、669、670、671、672、673、674、675、676、677、678、679、680、681、682、683、684、685、686、687、688、689、690、691、692、693、694、695、696、697、698、699、700、701、702、703、704、705、706、707、708、709、710、711、712、713、714、715、716、717、718、719、720、721、722、723、724、725、726、727、728、729、730、731、732、733、734、735、736、737、738、739、740、741、742、743、744、745、746、747、748、749、750、751、752、753、754、755、756、757、758、759、760、761、762、763、764、765、766、767、768、769、770、771、772、773、774、775、776、777、778、779、780、781、782、783、784、785、786、787、788、789、790、791、792、793、794、795、796、797、798、799、800、801、802、803、804、805、806、807、808、809、810、811、812、813、814、815、816、817、818、819、820、821、822、823、824、825、826、827、828、829、830、831、832、833、834、835、836、837、838、839、840、841、842、843、844、845、846、847、848、849、850、851、852、853、854、855、856、857、858、859、860、861、862、863、864、865、866、867、868、869、870、871、872、873、874、875、876、877、878、879、880、881、882、883、884、885、886、887、888、889、890、891、892、893、894、895、896、897、898、899、900、901、902、903、904、905、906、907、908、909、910、911、912、913、914、915、916、917、918、919、920、921、922、923、924、925、926、927、928、929、930、931、932、933、934、935、936、937、938、939、940、941、942、943、944、945、946、947、948、949、950、951、952、953、954、955、956、957、958、959、960、961、962、963、964、965、966、967、968、969、970、971、972、973、974、975、976、977、978、979、980、981、982、983、984、985、986、987、988、989、990、991、992、993、994、995、996、997、998、999、1000

リストが〜には、互いに〜

John



12. は場所を備え行く

ペテロは3度否定する

ヨハネ 14. 12

14

よって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。  
36 シモン・ペテロがイエスに言った。「主よ。どこにおいでになるのですか。」イエスは答へられた。「わたしが行く所は、あなたは今はついて来ることができません。しかし後にはついて来ます。」  
37 ペテロはイエスに言った。「主よ。なぜ今はあなたについて行くことができないのですか。あなたのためにはいのちも捨てます。」  
38 イエスは答へられた。「わたしのためにはいのちも捨てる、と言うのですか。まことに、まことに、あなたに告げます。鶏が鳴くまでに、あなたは三度わたしを知らないと言います。」  
14 「あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。」  
2 わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。もしあなたがたは、あなたがたに言っておいたでしよう。あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。」  
3 わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。」  
4 わたしの行く道はあなたがたも知っています。」  
5 トマスはイエスに言った。「主よ。どこへいらっしゃるのか、私たちにはわかりません。どうして、その道が私たちにわかりません。」

が私たちにわかりました。」  
6 イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」  
7 あなたがたは、もしわたしを知っていたら、父をも知っていたはずですが。しかし、今や、あなたがたは父を知っており、また、すでに父を見たのです。」  
8 ピリポはイエスに言った。「主よ。私たちに父を見せてください。そうすれば満足します。」  
9 イエスは彼に言われた。「ピリポ。こんなに長い間あなたがたといっしょにいるのに、あなたがたはわたしを知らなかったのですか。わたしを見た者は、父を見たのです。どうしてあなたがたは、私たちに父を見せてください。」  
10 わたしが父におり、父がわたしにおられることを、あなたがたは信じないのですか。わたしがあなたがたに言うことは、わたしは自分から語っているのではなく、父がわたしに示される父が、ご自分のわざをしておられるのです。」  
11 わたしが父におり、父がわたしにおられるとわたしが言うのを信じなさい。さもなければ、わざによって信じない。」  
12 まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしを信じる者は、わたしの行なうわざを行ない、またそれよりもさらに大きなわざを行ないます。わたしが父のもとに行くからです。」

- 36 ヨハネ 14:21 田ヨハネ 14:21
- 37 ヨハネ 14:22 田ヨハネ 14:22
- 38 ヨハネ 14:23 田ヨハネ 14:23
- 39 ヨハネ 14:24 田ヨハネ 14:24
- 40 ヨハネ 14:25 田ヨハネ 14:25
- 41 ヨハネ 14:26 田ヨハネ 14:26
- 42 ヨハネ 14:27 田ヨハネ 14:27
- 43 ヨハネ 14:28 田ヨハネ 14:28
- 44 ヨハネ 14:29 田ヨハネ 14:29
- 45 ヨハネ 14:30 田ヨハネ 14:30
- 46 ヨハネ 14:31 田ヨハネ 14:31
- 47 ヨハネ 14:32 田ヨハネ 14:32
- 48 ヨハネ 14:33 田ヨハネ 14:33
- 49 ヨハネ 14:34 田ヨハネ 14:34
- 50 ヨハネ 14:35 田ヨハネ 14:35
- 51 ヨハネ 14:36 田ヨハネ 14:36
- 52 ヨハネ 14:37 田ヨハネ 14:37
- 53 ヨハネ 14:38 田ヨハネ 14:38
- 54 ヨハネ 14:39 田ヨハネ 14:39
- 55 ヨハネ 14:40 田ヨハネ 14:40
- 56 ヨハネ 14:41 田ヨハネ 14:41
- 57 ヨハネ 14:42 田ヨハネ 14:42
- 58 ヨハネ 14:43 田ヨハネ 14:43
- 59 ヨハネ 14:44 田ヨハネ 14:44
- 60 ヨハネ 14:45 田ヨハネ 14:45
- 61 ヨハネ 14:46 田ヨハネ 14:46
- 62 ヨハネ 14:47 田ヨハネ 14:47
- 63 ヨハネ 14:48 田ヨハネ 14:48
- 64 ヨハネ 14:49 田ヨハネ 14:49
- 65 ヨハネ 14:50 田ヨハネ 14:50
- 66 ヨハネ 14:51 田ヨハネ 14:51
- 67 ヨハネ 14:52 田ヨハネ 14:52
- 68 ヨハネ 14:53 田ヨハネ 14:53
- 69 ヨハネ 14:54 田ヨハネ 14:54
- 70 ヨハネ 14:55 田ヨハネ 14:55
- 71 ヨハネ 14:56 田ヨハネ 14:56
- 72 ヨハネ 14:57 田ヨハネ 14:57
- 73 ヨハネ 14:58 田ヨハネ 14:58
- 74 ヨハネ 14:59 田ヨハネ 14:59
- 75 ヨハネ 14:60 田ヨハネ 14:60
- 76 ヨハネ 14:61 田ヨハネ 14:61
- 77 ヨハネ 14:62 田ヨハネ 14:62
- 78 ヨハネ 14:63 田ヨハネ 14:63
- 79 ヨハネ 14:64 田ヨハネ 14:64
- 80 ヨハネ 14:65 田ヨハネ 14:65
- 81 ヨハネ 14:66 田ヨハネ 14:66
- 82 ヨハネ 14:67 田ヨハネ 14:67
- 83 ヨハネ 14:68 田ヨハネ 14:68
- 84 ヨハネ 14:69 田ヨハネ 14:69
- 85 ヨハネ 14:70 田ヨハネ 14:70
- 86 ヨハネ 14:71 田ヨハネ 14:71
- 87 ヨハネ 14:72 田ヨハネ 14:72
- 88 ヨハネ 14:73 田ヨハネ 14:73
- 89 ヨハネ 14:74 田ヨハネ 14:74
- 90 ヨハネ 14:75 田ヨハネ 14:75
- 91 ヨハネ 14:76 田ヨハネ 14:76
- 92 ヨハネ 14:77 田ヨハネ 14:77
- 93 ヨハネ 14:78 田ヨハネ 14:78
- 94 ヨハネ 14:79 田ヨハネ 14:79
- 95 ヨハネ 14:80 田ヨハネ 14:80
- 96 ヨハネ 14:81 田ヨハネ 14:81
- 97 ヨハネ 14:82 田ヨハネ 14:82
- 98 ヨハネ 14:83 田ヨハネ 14:83
- 99 ヨハネ 14:84 田ヨハネ 14:84
- 100 ヨハネ 14:85 田ヨハネ 14:85
- 101 ヨハネ 14:86 田ヨハネ 14:86
- 102 ヨハネ 14:87 田ヨハネ 14:87
- 103 ヨハネ 14:88 田ヨハネ 14:88
- 104 ヨハネ 14:89 田ヨハネ 14:89
- 105 ヨハネ 14:90 田ヨハネ 14:90
- 106 ヨハネ 14:91 田ヨハネ 14:91
- 107 ヨハネ 14:92 田ヨハネ 14:92
- 108 ヨハネ 14:93 田ヨハネ 14:93
- 109 ヨハネ 14:94 田ヨハネ 14:94
- 110 ヨハネ 14:95 田ヨハネ 14:95
- 111 ヨハネ 14:96 田ヨハネ 14:96
- 112 ヨハネ 14:97 田ヨハネ 14:97
- 113 ヨハネ 14:98 田ヨハネ 14:98
- 114 ヨハネ 14:99 田ヨハネ 14:99
- 115 ヨハネ 14:100 田ヨハネ 14:100

一緒に歩いた。父と共に行った。去った。助け主が来る。

真理の御霊

時集ました

わたしが道であり

ユダ

真理

12:4

父の助け主

ユダとピリポ

父と霊

ヨハネ 14. 13

父父父

13 またわたしは、あなたがたがわたしの名によって求めることは何でも、それをしましょう。父が子によって栄光をお受けになるためです。  
14 あなたがたが、わたしの名によって何かをわたしに求めるなら、わたしはそれをししましょう。  
15 もしあなたがたがわたしを愛するのなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです。  
16 わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの助け主をあなたがたにお与えになります。その助け主がいつまでもあなたがたとともにおられるためにです。  
17 その方は、真理の御霊です。世はその方を受け入れることができません。世はその方を見もせず、知りもしないからです。しかし、あなたがたはその方を知っています。その方はあなたがたとともに住み、あなたがたのうちに住まれるからです。  
18 わたしは、あなたがたを捨てて孤児にはしません。わたしは、あなたがたのところに戻って来るのです。  
19 いましばらくで世はもうわたしを見なくなり、しかし、あなたがたはわたしを見ます。わたしが生きるのです、あなたがたも生きるからです。  
20 その日には、わたしが父におり、あなたがたがわたしにおり、わたしがあなたがたにおることが、あなたがたにわかります。  
21 わたしの戒めを保ち、それを守る人は、わたしを愛する人です。わたしを愛する人はわたしの父に愛され

わたしもその人を愛し、わたし自身を彼に現わします。」  
22 イスカリオテでないユダがイエスに言った。「主よ。あなたは、私たちに自分を見現わそうとしながら、世には現わそうとなさらないのは、どういうわけですか。」  
23 イエスは彼に答へられた。「だれでもわたしを愛する人は、わたしのことを守ります。そうすれば、わたしの父はその人を愛し、わたしたちはその人のところに来て、その人とともに住みます。」  
24 わたしを愛さない人は、わたしのことを守りません。あなたがたが聞いていることは、わたしのものではなく、わたしを遣わした父のことはなのです。」  
25 このことをわたしは、あなたがたといっしょにいる間に、あなたがたに話しました。  
26 しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、また、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。  
27 わたしは、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。あなたがたは心を騒がしてはなりません。恐れてはなりません。  
28 わたしは去って行き、また、あなたがたのところ

- 28 ヨハネ 14:28 田ヨハネ 14:28
- 29 ヨハネ 14:29 田ヨハネ 14:29
- 30 ヨハネ 14:30 田ヨハネ 14:30
- 31 ヨハネ 14:31 田ヨハネ 14:31
- 32 ヨハネ 14:32 田ヨハネ 14:32
- 33 ヨハネ 14:33 田ヨハネ 14:33
- 34 ヨハネ 14:34 田ヨハネ 14:34
- 35 ヨハネ 14:35 田ヨハネ 14:35
- 36 ヨハネ 14:36 田ヨハネ 14:36
- 37 ヨハネ 14:37 田ヨハネ 14:37
- 38 ヨハネ 14:38 田ヨハネ 14:38
- 39 ヨハネ 14:39 田ヨハネ 14:39
- 40 ヨハネ 14:40 田ヨハネ 14:40
- 41 ヨハネ 14:41 田ヨハネ 14:41
- 42 ヨハネ 14:42 田ヨハネ 14:42
- 43 ヨハネ 14:43 田ヨハネ 14:43
- 44 ヨハネ 14:44 田ヨハネ 14:44
- 45 ヨハネ 14:45 田ヨハネ 14:45
- 46 ヨハネ 14:46 田ヨハネ 14:46
- 47 ヨハネ 14:47 田ヨハネ 14:47
- 48 ヨハネ 14:48 田ヨハネ 14:48
- 49 ヨハネ 14:49 田ヨハネ 14:49
- 50 ヨハネ 14:50 田ヨハネ 14:50
- 51 ヨハネ 14:51 田ヨハネ 14:51
- 52 ヨハネ 14:52 田ヨハネ 14:52
- 53 ヨハネ 14:53 田ヨハネ 14:53
- 54 ヨハネ 14:54 田ヨハネ 14:54
- 55 ヨハネ 14:55 田ヨハネ 14:55
- 56 ヨハネ 14:56 田ヨハネ 14:56
- 57 ヨハネ 14:57 田ヨハネ 14:57
- 58 ヨハネ 14:58 田ヨハネ 14:58
- 59 ヨハネ 14:59 田ヨハネ 14:59
- 60 ヨハネ 14:60 田ヨハネ 14:60
- 61 ヨハネ 14:61 田ヨハネ 14:61
- 62 ヨハネ 14:62 田ヨハネ 14:62
- 63 ヨハネ 14:63 田ヨハネ 14:63
- 64 ヨハネ 14:64 田ヨハネ 14:64
- 65 ヨハネ 14:65 田ヨハネ 14:65
- 66 ヨハネ 14:66 田ヨハネ 14:66
- 67 ヨハネ 14:67 田ヨハネ 14:67
- 68 ヨハネ 14:68 田ヨハネ 14:68
- 69 ヨハネ 14:69 田ヨハネ 14:69
- 70 ヨハネ 14:70 田ヨハネ 14:70
- 71 ヨハネ 14:71 田ヨハネ 14:71
- 72 ヨハネ 14:72 田ヨハネ 14:72
- 73 ヨハネ 14:73 田ヨハネ 14:73
- 74 ヨハネ 14:74 田ヨハネ 14:74
- 75 ヨハネ 14:75 田ヨハネ 14:75
- 76 ヨハネ 14:76 田ヨハネ 14:76
- 77 ヨハネ 14:77 田ヨハネ 14:77
- 78 ヨハネ 14:78 田ヨハネ 14:78
- 79 ヨハネ 14:79 田ヨハネ 14:79
- 80 ヨハネ 14:80 田ヨハネ 14:80
- 81 ヨハネ 14:81 田ヨハネ 14:81
- 82 ヨハネ 14:82 田ヨハネ 14:82
- 83 ヨハネ 14:83 田ヨハネ 14:83
- 84 ヨハネ 14:84 田ヨハネ 14:84
- 85 ヨハネ 14:85 田ヨハネ 14:85
- 86 ヨハネ 14:86 田ヨハネ 14:86
- 87 ヨハネ 14:87 田ヨハネ 14:87
- 88 ヨハネ 14:88 田ヨハネ 14:88
- 89 ヨハネ 14:89 田ヨハネ 14:89
- 90 ヨハネ 14:90 田ヨハネ 14:90
- 91 ヨハネ 14:91 田ヨハネ 14:91
- 92 ヨハネ 14:92 田ヨハネ 14:92
- 93 ヨハネ 14:93 田ヨハネ 14:93
- 94 ヨハネ 14:94 田ヨハネ 14:94
- 95 ヨハネ 14:95 田ヨハネ 14:95
- 96 ヨハネ 14:96 田ヨハネ 14:96
- 97 ヨハネ 14:97 田ヨハネ 14:97
- 98 ヨハネ 14:98 田ヨハネ 14:98
- 99 ヨハネ 14:99 田ヨハネ 14:99
- 100 ヨハネ 14:100 田ヨハネ 14:100

父と共に行った。去った。助け主が来る。



15

[illegible]

助主

16 あなたがたがわたしを選んだではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。それは、あなたがたが行って実を結び、そのあなたがたの実が残るためであり、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものは何でも、父があなたがたにお与えになるためです。

17 あなたがたが互いに愛し合うこと、これが、わたし  
のあなたがたに与える戒めです。  
18 もし世があなたがたを憎むなら、世はあなたがたよ  
りもわたしを先に憎んだことを知っておきなさい。  
19 もしあなたがたがこの世のものであったなら、世は  
自分のものを愛したでしょう。しかし、あなたがたは  
世のものではなく、かえってわたしが生かされたが  
たを選び出したのです。それで世はあなたがたを憎む  
のです。

194

20 しもべはその主人にまさるものではない、とわたし  
があなたがたに言ったことは覚えておきなさい。も

いぬちと捨友

五二六

来た

अथ

五二五

しんぞく主

14:16

16

1 これらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがまずくこと

のなためです。  
2人々はあなたがたを会堂から追放するでしょう。事

[illegible][illegible]



助け主

1 寒、あなたがたを殺す者がみな、そうすることで自分  
は神に奉仕しているのだと思う時が来ます。  
2 彼らがこういうことを行なうのは、父をもわたしを  
も知らないからです。  
3 しかし、わたしがこれらのことをあなたがたに話した  
のは、その時が来れば、わたしがそれについて話した  
ことを、あなたがたが思い出すためです。わたしが  
初めからこれらのことをあなたがたに話さなかったの  
は、わたしがあなたがたといっしょにいたからです。  
4 しかし今わたしは、わたしを遣わした方のもとに行  
こうとしています。しかし、あなたがたのうちには、  
ひとりとして、どこに行くのですかと尋ねる者があ  
りません。  
5 かえって、わたしがこれらのことをあなたがたに話  
したために、あなたがたの心は悲しみでいっぱいにな  
っています。  
6 しかし、わたしは真実を言います。わたしが去っ  
て行くことは、あなたがたにとって益なのです。それ  
は、もしわたしが去って行かなければ、助け主があ  
なたがたのところに来ないからです。しかし、もし行け  
ば、わたしは助け主をあなたがたのところに遣わしま  
す。  
7 その方が来ると、罪について、義について、さばき  
について、世にその誤りを認めさせます。  
8 罪についてというのは、彼らがわたしを信じないか  
らです。

悲 → 喜

真理の御霊

「わたしは話した」

悲しみは喜びになる

9 彼らが質問したがつて知っていることを、  
10 イエスは、彼らが質問したがつて知っていることを、  
彼らに言われた。『しばらくするとあなたがたは、わ  
たしを見なくなる。しかし、またしばらくするとわた  
しを見る。』とわたしは言ったことについて、互いに論  
じ合っているのですか。  
11 まことに、あなたがたに告げます。あなた  
がたは泣き、嘆き悲しむが、世は喜びのです。あな  
たがたは悲しむが、しかし、あなたがたの悲しみは喜  
びに変わります。  
12 女が子を産むときには、その時が来たので苦しいま  
す。しかし、子を産んでしまうと、ひとりの人が世に  
生まれた喜びのために、もはやその激しい苦痛を忘れ  
てしまいます。  
13 あなたがたにも、今は悲しみがあるが、わたしはも  
う一度あなたがたに会います。そうすれば、あなたが  
たの心は喜びに満たされます。そして、その喜びをあ  
なたがたから奪い去る者はありません。  
14 その日には、あなたがたはもはや、わたしに何も尋  
ねません。まことに、あなたがたに告げま  
す。あなたがたが父に求めることは何でも、父は、わ  
たしの名によってそれをあなたがたにお与えになりま  
す。  
15 あなたがたは今まで、何もわたしの名によって求め  
たことはありません。求めなさい。そうすれば受ける  
のです。それはあなたがたの喜びが満ち満ちたものと

なるためです。  
16 これらのことを、わたしはあなたがたにたとえで  
話しました。もはやたとえでは話さないで、父につ  
いてはつきりと告げる時が来ます。  
17 その日には、あなたがたはわたしの名によって求め  
るのです。わたしはあなたがたに代わって父に願って  
あげようとは言いません。  
18 それはあなたがたがわたしを愛し、また、わたしを  
神から出て来た者と信じたので、父ご自身があなたが  
たを愛しておられるからです。  
19 わたしは父から出て、世に来ました。もう一度、わ  
たしは世を去って父のもとに行きます。  
20 弟子たちは言った。「ああ、今あなたはつきりと  
話して、何一つたとえ話はなさいません。  
21 いま私たちは、あなたがたがいつさいのことを存じて、  
だれもあなたにお尋ねする必要がないことがわかりま  
した。これで、私たちはあなたが神から来られたこと  
を信じます。  
22 イエスは彼らに答えられた。「あなたがたは今、信  
じているのですか。  
23 見なさい。あなたがたが散らされて、それぞれ自分  
の家に帰る、わたしをひとり残す時が来ます。いや、  
すでに来ています。しかし、わたしはひとりではあり  
ません。父がわたしといっしょにおられるからです。  
24 わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、  
あなたがたがわたしにあって平安を持つためです。

10 また、義についてとは、わたしが父のもとに行き、  
あなたがたがもはやわたしを見なくなるからです。  
11 さばきについてとは、この世を支配する者がさばか  
れたからです。  
12 わたしには、あなたがたに話すことがまだたくさん  
ありますが、今あなたがたはそれに耐える力がありま  
せん。  
13 しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あな  
たがたをすべての真理に導き入れます。御霊は自分か  
ら語るのではなく、聞くままを話し、また、やがて起  
ころうとしていることをあなたがたに示すからです。  
14 御霊はわたしの栄光を現わします。わたしのものを  
受けて、あなたがたに知らせるからです。  
15 父が持っておられるものはみな、わたしのものです。  
ですからわたしは、御霊がわたしのものを受けて、あ  
なたがたに知らせると言ったのです。  
16 しばらくするとあなたがたは、もはやわたしを見な  
くなりません。しかし、またしばらくするとわたしを見  
ます。  
17 そこで、弟子たちのうちのある者は互いに言った。  
『しばらくするとあなたがたは、わたしを見なくなる。  
しかし、またしばらくするとわたしを見る。』また『わ  
たしは父のもとに行くからだ。』と主が言われるのは、  
どういふことなのだろう。  
18 そこで、彼らは『しばらくすると、』と主が言われる  
のは何のことだろうか。私たちに主の言われること

- 19 ヨハネ 16:19
- 20 ヨハネ 16:20
- 21 ヨハネ 16:21
- 22 ヨハネ 16:22
- 23 ヨハネ 16:23
- 24 ヨハネ 16:24
- 25 ヨハネ 16:25
- 26 ヨハネ 16:26
- 27 ヨハネ 16:27
- 28 ヨハネ 16:28
- 29 ヨハネ 16:29
- 30 ヨハネ 16:30
- 31 ヨハネ 16:31
- 32 ヨハネ 16:32
- 33 ヨハネ 16:33

- 2 ヨハネ 16:2
- 3 ヨハネ 16:3
- 4 ヨハネ 16:4
- 5 ヨハネ 16:5
- 6 ヨハネ 16:6
- 7 ヨハネ 16:7
- 8 ヨハネ 16:8
- 9 ヨハネ 16:9
- 10 ヨハネ 16:10
- 11 ヨハネ 16:11
- 12 ヨハネ 16:12
- 13 ヨハネ 16:13
- 14 ヨハネ 16:14
- 15 ヨハネ 16:15
- 16 ヨハネ 16:16
- 17 ヨハネ 16:17







18. 1-27  
28-40

ペテロは3度否定する

30 彼らはピラトに答えた。「もしこの人が悪いことをしていなかったら、私たちはこの人をあなたに引き渡さしはしなかったでしょう。」  
31 そこでピラトは彼らに言った。「あなたがたがこの人を引き取り、自分たちの律法に従ってさばきなさい。」ユダヤ人たちは彼に言った。「私たちは、だれ

32 これは、ご自分がどのような死に方をされるのかを示して話されたイエスのことが成就するためであつた。  
33 そこで、ピラトはもう一度官邸にはいって、イエスと呼んで言った。「あなたは、ユダヤ人の王ですか。」  
34 イエスは答へられた。「あなたは、自分でそのことを言っているのですか。それともほかの人が、あなたにわたしのことを話したのですか。」  
35 ピラトは答へた。「私はユダヤ人ではないでしょう。あなたの同国人と祭司長たちが、あなたを私に引き渡したのです。あなたは何をしましたのですか。」  
36 イエスは答へられた。「わたしの国はこの世のものではありません。もしこの世のものであったなら、わたしのしもべたちが、わたしをユダヤ人に渡さないように、戦ったことでしょう。しかし、事実、わたしの国はこの世のものではありません。」  
37 そこでピラトはイエスに言った。「それでは、あなたは王なのですか。」イエスは答へられた。「わたしが王であることは、あなたが言うとおりでです。わたしは、真理のあかしをするために生まれ、このことのために世に來たのです。真理に属する者はみな、わたしの声に聞き従います。」  
38 ピラトはイエスに言った。「真理とは何ですか。」彼はこう言ってから、またユダヤ人たちのところに出て行って、彼らに言った。「私は、あの人には罪を認

- 38 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 39 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 40 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六

もし正しいなら、なぜ、わたしを打つのか。」  
24 アンナスはイエスを、縛ったまま大祭司カヤパのところへ送った。  
25 一方、シモン・ペテロは立って、暖まっていた。すると、人々は彼に言った。「あなたもあの人の弟子ではないでしようね。」ペテロは否定して、「そんな者ではない。」と言った。  
26 大祭司のしもべのひとりで、ペテロに耳を切り落とされた人の親類に当たる者が言った。「私が見なかったとでもいうのですか。あなたは園であの人といっしょにいました。」  
27 それで、ペテロはもう一度否定した。するとすぐ鶏が鳴いた。  
28 さて、彼らはイエスを、カヤパのところから総督官邸に連れて行った。時は明け方であった。彼らは、過越の食事が食べられなくなることのないように、汚れを受けまいとして、官邸にはいりなかつた。  
29 そこで、ピラトは彼らのところに出て来て言った。「あなたがたは、この人に対して何を告発するのですか。」  
30 彼らはピラトに答へた。「もしこの人が悪いことをしていなかったら、私たちはこの人をあなたに引き渡さしはしなかったでしょう。」  
31 そこでピラトは彼らに言った。「あなたがたがこの人を引き取り、自分たちの律法に従ってさばきなさい。」ユダヤ人たちは彼に言った。「私たちは、だれ

を死刑にすることも許されてはいません。」  
32 これは、ご自分がどのような死に方をされるのかを示して話されたイエスのことが成就するためであつた。  
33 そこで、ピラトはもう一度官邸にはいって、イエスと呼んで言った。「あなたは、ユダヤ人の王ですか。」  
34 イエスは答へられた。「あなたは、自分でそのことを言っているのですか。それともほかの人が、あなたにわたしのことを話したのですか。」  
35 ピラトは答へた。「私はユダヤ人ではないでしょう。あなたの同国人と祭司長たちが、あなたを私に引き渡したのです。あなたは何をしましたのですか。」  
36 イエスは答へられた。「わたしの国はこの世のものではありません。もしこの世のものであったなら、わたしのしもべたちが、わたしをユダヤ人に渡さないように、戦ったことでしょう。しかし、事実、わたしの国はこの世のものではありません。」  
37 そこでピラトはイエスに言った。「それでは、あなたは王なのですか。」イエスは答へられた。「わたしが王であることは、あなたが言うとおりでです。わたしは、真理のあかしをするために生まれ、このことのために世に來たのです。真理に属する者はみな、わたしの声に聞き従います。」  
38 ピラトはイエスに言った。「真理とは何ですか。」彼はこう言ってから、またユダヤ人たちのところに出て行って、彼らに言った。「私は、あの人には罪を認

- 24 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 25 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 26 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 27 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 28 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 29 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 30 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 31 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 32 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 33 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 34 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 35 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 36 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 37 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 38 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六

「練習」

「(ア)・(ペ)」

(ア)・(ペ)

「鶏が鳴いた」

「ペテロの3度否定」

大祭司  
ペテロ  
大祭司  
ペテロ

もう一度  
\*2

12 そこで、一隊の兵士と千人隊長、それにユダヤ人から送られた役人たちは、イエスを捕えて縛り、まずアンナスのところに連れて行った。彼がその年の大祭司カヤパのしゅうとだったからである。  
13 カヤパは、ひとりの人が民に代わって死ぬことが得策である、とユダヤ人に助言した人である。  
14 シモン・ペテロともうひとりの弟子は、イエスについて行った。この弟子は大祭司の知り合いで、イエ

21 なぜ、あなたはわたしに尋ねるのですか。わたしが人々に何を話したかは、わたしから聞いた人たちに尋ねなさい。彼らならわたしに話した事を知っています。」  
22 イエスがこう言われたとき、そばに立っていた役人のひとりが、「大祭司にそのような答え方をするのか。」と言って、平手でイエスを打った。  
23 イエスは彼に答へられた。「もしわたしの言ったことが悪いなら、その悪い証拠を示しなさい。しかし、

- 12 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 13 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 14 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 15 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 16 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 17 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 18 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 19 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 20 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 21 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 22 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 23 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六

ユダヤ人たちはイエスを捕えた。

彼らに「それはわたしです。」と言われた。イエスを裏切ろうとしていたユダも彼らといっしょに立っていた。  
6 イエスが彼らに、「それはわたしです。」と言われたとき、彼らはあつさりし、そして地に倒れた。  
7 そこで、イエスがもう一度、「だれを捜すのか。」と問われると、彼らは「ナザレ人イエスを。」と言った。  
8 イエスは答へられた。「それはわたしだと、あなたがたに言ったでしょう。もしわたしを捜しているのなら、この人たちはこのままで去らせなさい。」  
9 それは、「あなたがわたしに下さった者のうち、ただのひとりをも失いませんでした。」とイエスが言われたことが実現するためであった。  
10 シモン・ペテロは、剣を持っていたが、それを抜き、大祭司のしもべを撃ち、右の耳を切り落とした。そのしもべの名はマルコスであった。  
11 そこで、イエスはペテロに言われた。「剣をさやに収めなさい。父がわたしに下さった杯を、どうして飲まずにいられよう。」  
12 そこで、一隊の兵士と千人隊長、それにユダヤ人から送られた役人たちは、イエスを捕えて縛り、まずアンナスのところに連れて行った。彼がその年の大祭司カヤパのしゅうとだったからである。  
13 カヤパは、ひとりの人が民に代わって死ぬことが得策である、とユダヤ人に助言した人である。  
14 シモン・ペテロともうひとりの弟子は、イエスについて行った。この弟子は大祭司の知り合いで、イエ

16 しかし、ペテロは外で門のところに立っていた。それで、大祭司の知り合いである、もうひとりの弟子が出て来て、門番の女に話して、ペテロを連れてはいった。  
17 すると、門番のはしめがペテロに、「あなたもあの人の弟子ではないでしようね。」と言った。ペテロは、「そんな者ではない。」と言った。  
18 寒かったので、しもべたちや役人たちは、炭火をおこし、そこに立って暖まっていた。ペテロも彼らといっしょに、立って暖まっていた。  
19 そこで、大祭司はイエスに、弟子たちのこと、また、教えることについて尋問した。  
20 イエスは彼に答へられた。「わたしは世に向かつて公然と話しました。わたしはユダヤ人がみな集まって来る会堂や宮で、いつも教えたのです。隠れて話したことは何もありません。」  
21 なぜ、あなたはわたしに尋ねるのですか。わたしが人々に何を話したかは、わたしから聞いた人たちに尋ねなさい。彼らならわたしに話した事を知っています。」  
22 イエスがこう言われたとき、そばに立っていた役人のひとりが、「大祭司にそのような答え方をするのか。」と言って、平手でイエスを打った。  
23 イエスは彼に答へられた。「もしわたしの言ったことが悪いなら、その悪い証拠を示しなさい。しかし、

- 3 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 4 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 5 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 6 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 7 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 8 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 9 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 10 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 11 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 12 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 13 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 14 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 15 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 16 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 17 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 18 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 19 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 20 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 21 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 22 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六
- 23 ①ヨハ八二六、②ヨハ八二七、③ルカ二二、④ヨハ八二六

書







知恵ある者は消えることを知っている  
受けるが。

伝道者の書

消えること

事業を拡大した

富

御国と恵を  
第一に求めること

王

father → son

wisdom

to fear & love God

wisdom

love

poor / s of s  
ecc / job

人間関係  
神様との関係  
works of kings  
works of priests

12 伝道者である私は、エルサレムでイスラエルの王であった。  
13 私は、天の下で行なわれるいっさいの事について、知恵を用いて、一心に尋ね、探り出そうとした。これは、人の子らが労苦するようにと神が与えたつらい仕事だ。  
14 私は、日の下で行なわれたすべてのわざを見たが、なんと、すべてがむなしなことよ。風を追うようなものだ。  
15 曲がっているものを、まっすぐにはできない。なくなっているものを、数えることはできない。  
16 私は自分の心にこう語って言った。「今や、私は、私より先にエルサレムにいただれよりも知恵を増し加えた。私の心は多くの知恵と知識を得た。」  
17 私は、一心に知恵と知識を、狂気と愚かさを知ろうとした。それもまた風を追うようなものであることを知った。  
18 実に、知恵が多くなれば悩みも多くなり、知識を増す者は悲しみを増す。  
19 私は心の中で言った。「さあ、快楽を味わってみるがよい。楽しんでみるがよい。」しかし、これもまた、なんとむなしなことか。  
20 笑いか。ばからしいことだ。快楽か。それがいったい何になるう。  
21 私は心の中で、私の心は知恵によって導かれているが、からだはぶどう酒で元気づけようと考えた。人の子が短い一生の間、天の下でする事について、何が良いかを見るまでは、愚かさを身につけていようと考えた。  
22 私は事業を拡張し、邸宅を建て、ぶどう畑を設け、庭と園を造り、そこにあらゆる種類の果樹を植えた。  
23 木の茂った森を潤すために池も造った。  
24 私は男女の奴隷を得た。私には家で生まれた奴隷があつた。私には、私より先にエルサレムにいただれよりも多くの牛や羊もあつた。  
25 私はまた、銀や金、それに王たちや諸州の宝も集めた。私は男女の歌うたいをつくり、人の子らの快樂である多くのそばめを手に入れた。  
26 私は、私より先にエルサレムにいただれよりも偉大な者となった。しかも、私の知恵は私から離れなかった。  
27 私は、私の目の欲するものは何でも拒まず、心のおもむくままに、あらゆる楽しみをした。実に私の心はどんな労苦をも喜んだ。これが、私のすべての労苦による私の受ける分であつた。  
28 しかし、私が手がけたあらゆる事業と、そのために私が骨折った労苦とを振り返ってみると、なんと、すべてがむなしなことよ。風を追うようなものだ。日の下には何一つ益になるものはない。

2 Keeping God's commandment



富の結末は誰かに  
誰かにはけいけい!

同じ結末は

2

12 私は振り返って、知恵と、狂気と、愚かさを見た。いったい、王の跡を継ぐ者も、すでになされた事をするのにすぎないではないか。  
13 私は見た。光がやみにまさっているように、知恵は愚かさにもまさっていることよ。  
14 知恵ある者は、その頭に目があるが、愚かな者はやみの中を歩く。しかし、みな、同じ結末に行き着くことを私は知った。  
15 私は心の中で言った。「私も愚かな者と同じ結末に行き着くのなら、それでは私の知恵は私に何の益になるうか。」私は心の中で語った。「これもまたむなしことよ。」  
16 事実、知恵ある者も愚かな者も、いつまでも記憶されることはない。日がたつと、いっさいは忘れられてしまふ。知恵ある者も愚かな者とともに死んでいなくなる。  
17 私は生きていることを憎んだ。日の下で行なわれるわざは、私にとつてはわきわいだ。すべてはむなしく、風を追うようなものだから。  
18 私は日の下で骨折ったいっさいの労苦を憎んだ。後継者のために残さなければならぬからである。  
19 後継者が知恵ある者か愚かな者か、だれにわからう。しかも、私が日の下で骨折り、知恵を使つてしたすべての労苦を、その者が支配するようになるのだ。これもまた、むなしこと。  
20 私は日の下で骨折ったいっさいの労苦を思い返して絶望した。  
21 どんなに人が知恵と知識と才能をもつて労苦しても、何の労苦もしなかつた者に、自分の分け前を譲らなければならぬ。これもまた、むなしく、非常に悪いことだ。  
22 実に、日の下で骨折ったいっさいの労苦と思ひ煩いは、人に何になるう。  
23 その一生は悲しみであり、その仕事には悩みがあり、その心は夜も休まらない。これもまた、むなしこと。  
24 人には、食べたり飲んだりし、自分の労苦に満足を見いだすよりほかに、何も良いことがない。これもまた、神の御手によることがわかつた。  
25 実に、神から離れて、だれが食べ、だれが楽しむことができようか。  
26 なぜなら、神は、みこころにかなう人には、知恵と知識と喜びを与え、罪人には、神のみこころにかなう者に渡すために、集め、たくわえる仕事を与えられる。これもまた、むなしく、風を追うようなものだ。

食たり飲たり

王の命令と神の誓約があるが



人の労苦、神の御手、神の御心

05998 & 05999

日の下で知恵を求めた



・益は神のみわざによる

すべてのことに時がある。すべては神のみわざである。

3

11 天の下では、何事にも定まった時期があり、  
 10 すべての営みには時がある。  
 9 生まれるのに時があり、死ぬのに時がある。  
 8 植えるのに時があり、  
 7 植えた物を引き抜くのに時がある。  
 6 殺すのに時があり、いやすのに時がある。  
 5 泣くのに時があり、建てるのに時がある。  
 4 嘆くのに時があり、踊るのに時がある。  
 3 石を投げ捨てるのに時があり、  
 2 石を集めるのに時がある。  
 1 抱擁するのに時があり、  
 抱擁をやめるのに時がある。  
 7 抱擁するのに時があり、失うのに時がある。  
 6 保つのに時があり、投げ捨てるのに時がある。  
 5 引き裂くのに時があり、  
 4 縫い合わせるのに時がある。  
 3 黙っているのに時があり、話をするのに時がある。  
 2 愛するのに時があり、憎むのに時がある。  
 1 戦うのに時があり、和睦するのに時がある。

9 働く者は労苦して何の益を得よう。  
 10 私は神が人の子らに与えて労苦させる仕事を見た。  
 11 神のなさることは、すべて時になつて美しい。神はまた、人の心に永遠への思いを与えられた。しかし、人は、神が行なわれるみわざを、初めから終わりまで見きわめることができない。  
 12 私は知った。人は生きている間に喜び楽しむほか何もうまいことがないのを。  
 13 また、人がみな、食べたり飲んだりし、すべての労苦の中にしあわせを見いだすこともまた神の賜物であることを。  
 14 私は知った。神のなさることはみな永遠に変わらないことを。それに何かをつけ加えることも、それから何かを取り去ることもできない。神がこのことをされたのだ。人は神を恐れなければならない。  
 15 今あることは、すでにあったこと。これからあることも、すでにあったこと。神は、すでに追い求められたことをこれからも捜し求められる。

Rejoice

・日の下に益はない

人も獣も同じ結末 支那にても/共に同じ結末

4

16 さらに私は日の下で、さばきの場に不正があり、正義の場に不正があるのを見た。  
 17 私は心の中で言った。「神は正しい人も悪者もさばく。そこでは、すべての営みと、すべてのわざには、時があるからだ。」  
 18 私は心の中で人の子らについて言った。「神は彼らを試み、彼らが獣にすぎないことを、彼らが気づくようにされたのだ。」  
 19 人の子の結末と獣の結末とは同じ結末だ。これも死ねば、あれも死ぬ。両方とも同じ息を持っている。人は何も獣にまさっていない。すべてはむなしからだ。  
 20 みな同じ所に行く。すべてのものはちりから出て、すべてのものはちりに帰る。  
 21 だが知っているだろうか。人の子らの霊は上に上り、獣の霊は地の下に降りて行くのを。  
 22 私は見た。人は、自分の仕事を樂しむよりほかに、何も良いことがないことを。それが人の受ける分であるからだ。だが、これから後に起こることを人に見せてくれるだろう。

4

1 私は再び、日の下で行なわれるいっさいのしいたげを見た。見よ、しいたげる者が権力をふるう。しかし、彼らには慰める者がいない。  
 2 私は、まだいのちがあつて生きている人よりは、すでに死んだ死人のほうに祝いを申し述べる。  
 3 また、この両者よりもっと良いのは、今までに存在しなかった者、日の下で行なわれる悪いわざを見なかった者だ。  
 4 私はまた、あらゆる労苦とあらゆる仕事の成功を見た。それは人間同士のねたみにすぎない。これもまた、むなしく、風を追うようなものだ。  
 5 愚かな者は、手をこまねいて、自分の肉を食べる。片手に安楽を満たすことは、  
 6 両手に労苦を満たして風を追うのにまさる。

すべてのものはちりに帰る。



神のみわざには時がある

神のみわざに見られることは  
できぬ

2

御業

11 神のなさることは、すべて時になつて美しい。神はまた、人の心に永遠への思いを与えられた。しかし、人は、神が行なわれるみわざを、初めから終わりまで見きわめることができない。  
12 私は知った。人は生きている間に喜び楽しむほか何も良いことがないのを。  
13 また、人がみな、食べたり飲んだりし、すべての労苦の中にしあわせを見いだすこともまた神の賜物であることを。  
14 私は知った。神のなさることはみな永遠に変わらぬことを。それに何かをつけ加えることも、それから何かを取り去ることもできない。神がこのことをされたのだ。人は神を恐れなければならない。  
15 今あることは、すでにあったこと。これからあることも、すでにあったこと。神は、すでに追い求められたことをこれからも探し求められる。

3  
1 天の下では、何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある。  
2 生まれるのに時があり、死ぬのに時がある。  
3 植えるのに時があり、植えた物を引き抜くのに時がある。  
4 殺すのに時があり、いやすのに時がある。  
5 泣くのに時があり、建てるのに時がある。  
6 嘆くのに時があり、踊るのに時がある。  
7 石を投げ捨てるのに時があり、石を集めるのに時がある。  
8 抱擁するのに時があり、抱擁をやめるのに時がある。  
9 捜すのに時があり、失うのに時がある。  
10 保つのに時があり、投げ捨てるのに時がある。  
11 引き裂くのに時があり、縫い合わせるのに時がある。  
12 黙っているのに時があり、話すのに時がある。  
13 愛するのに時があり、憎むのに時がある。  
14 戦うのに時があり、和睦するのに時がある。

私は知った...

時

- 1:12-2:26
- 3:1-15
- 3:16-4:16
- 5:1-6:9

神の事に時がある

・知恵の結末  
・富の結末

・神のみわざは永遠なる

・飲食が喜ばしい

・日々を愛する

・同じ結末。 (new)

there is a every purpose time for

神のみわざには時がある



游

愚かな者は、手をこまねいて、自分の肉を食べる  
片手に安楽を満たすことは、  
両手に労苦を満たして風を追うのにまさる。

4 私はまた、あらゆる辛苦とあらゆる仕事の成功を見た。それは人間同士のねたみにすぎない。これもまた、むなしく、風を追うようなものだ。

16 さらに私は**月の下**で、さばきの場に不正があり、正義の場に不正があるのを見た。  
17 私は心の中で言った。「神は正しい人も悪者もさばく。そこでは、すべての営みと、すべてのわざには、時があるからだ。」  
18 私は心の中で人の子らについて言った。「神は彼らを試み、彼らが獣にすぎないことを、彼らが気づくようにされたのだ。」  
19 人の子の結末と獣の結末とは同じ結末だ。これも死ねば、あれも死ぬ。両方とも同じ息を持っている。人は何も獣にまさっていない。すべてはむなしからだ。  
20 みな同じ所に行く。すべてのものはちりから出て、すべてのものはちりに帰る。  
21 だがが知っているだろうか。人の子らの霊は上に上り、獣の霊は地の下に降りて行くのを。  
22 私は見た。人は、自分の仕事を樂しむよりほかに、何も良いことがないことを。それが人の受ける分であるからだ。だが、これから後に起こることを人に見せてくれるだろう。

☁  
日の下...

結果は47.5%の12%である

玉は時と実を配する

時

鬼が者になるよ

正しくさばきか右な  
われない。

7 私<sup>わたし</sup>は再び、日<sup>ひ</sup>の下<sup>した</sup>にむなしさのあるのを見た。  
8 ひとりぼっちで、仲間<sup>仲間</sup>もなく、子<sup>こ</sup>も兄弟<sup>兄弟</sup>もない人<sup>ひと</sup>が  
いる。それでも彼<sup>かれ</sup>のいつさいの労苦<sup>ろうこ</sup>には終わりがない。  
彼<sup>かれ</sup>の目<sup>め</sup>は富<sup>とみ</sup>を求めて飽き足<sup>あき</sup>りることがない。そして、  
「私はだれのために労苦<sup>ろうこ</sup>し、楽しみもなくして自分<sup>自分</sup>を犠牲<sup>ぎせい</sup>にしているのか」とも言<sup>い</sup>わない。これもまた、む  
なく、つらい仕事<sup>しごと</sup>だ。

9 ふたりはひとりよりもまさっている。ふたりが労  
苦<sup>ろうこ</sup>すれば、良い報<sup>はら</sup>いがあるからだ。

10 どちらかが倒<sup>たふ</sup>れるとき、ひとりがその仲間<sup>仲間</sup>を起こ<sup>おこ</sup>す。  
倒<sup>たふ</sup>れても起<sup>おこ</sup>す者のいないひとりぼっちの人<sup>ひと</sup>はかわい  
そうだ。

11 また、ふたりがいっしょに寝<sup>ね</sup>ると暖<sup>あたた</sup>かいが、ひとり  
では、どうして暖<sup>あたた</sup>かくなろう。

12 もしひとりなら、打ち負<sup>ま</sup>かされても、ふたりなら立<sup>た</sup>  
ち向<sup>むか</sup>える。三つ撚<sup>ひ</sup>りの糸<sup>いと</sup>は簡単<sup>かんたん</sup>には切<sup>き</sup>れない。

13 貧<sup>ひん</sup>しくても知恵<sup>ちえ</sup>のある若者<sup>わかしゅ</sup>は、もう忠言<sup>ちゅうごん</sup>を受けつ  
けない年<sup>とし</sup>とった愚<sup>おろこ</sup>かな王<sup>おう</sup>にまさる。

14 たとい、彼<sup>かれ</sup>が牢獄<sup>らうごく</sup>から出<sup>で</sup>て来<sup>き</sup>て王<sup>おう</sup>になっただにしても、  
たとい、彼<sup>かれ</sup>が王<sup>おう</sup>国<sup>こく</sup>で貧<sup>ひん</sup>しく生<sup>おこ</sup>まれた者<sup>もの</sup>であつたにして  
も。

15 私は、日<sup>ひ</sup>の下<sup>した</sup>に生息<sup>せいそく</sup>するすべての生きものが、王<sup>おう</sup>に  
代<sup>か</sup>わつて立つ後継<sup>こうけい</sup>の者<sup>もの</sup>の側<sup>かた</sup>につくのを見た。

16 すべての民<sup>たみ</sup>には果<sup>は</sup>てしがない。彼<sup>かれ</sup>が今<sup>いま</sup>あるすべての  
民<sup>たみ</sup>の先頭<sup>せんとう</sup>に立つても、これから後<sup>のち</sup>の者<sup>もの</sup>たちは、彼<sup>かれ</sup>を喜<sup>よろこ</sup>  
ばないであらう。これもまた、むなく、風<sup>かぜ</sup>を追<sup>お</sup>うよ  
うなものだ。

9.15

御業

愚

猫

もしいとなら  
打ち負かされて  
ふたたび立ち向える  
三つ然の糸は  
簡単には切れない

日の下を走ってもおかしな事はない。 (同様に)

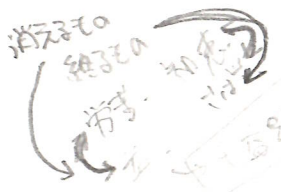


愚かな者の "知恵" は空しい。  
この世の富も知恵もろくに  
帰る終末。

空しい偶像。

前半は苦

works of men  
works of God.



図はつてあるが、これは

4

10.12-

5

1 神の宮へ行くときは、自分の足に  
気をつけよ。近寄って聞くことは、  
愚かな者がいけにえをささげるのにまさる。彼らは自  
分たちが悪を行なっていることを知らないからだ。  
2 神の前では、軽々しく、心あせってことばを出すな。  
神は天におられ、あなたは地にいるからだ。だから、  
ことばを少なくせよ。  
3 仕事が多いと夢を見る。  
4 神に誓願を立てるときには、それを果たすのを遅ら  
せてはならない。神は愚かな者を喜ばないからだ。誓  
ったことは果たせ。  
5 誓って果たさないよりは、誓わないほうがよい。  
6 あなたの口が、あなたに罪を犯させないようにせよ。  
使者の前で「あれは過失だ。」と言ってはならない。神  
が、あなたの言うことを聞いて怒り、あなたの手のわ  
さを減はしてもよいだろうか。  
7 夢が多くなると、  
むなしなことばも多くなる。  
ただ、神を恐れよ。

知恵の終る

主は信頼の時を支配する。王様の御は終る。  
主は信頼する。 control through God, Ultimate control... 3:12,13

6

13 私は日の下に、痛ましいことがあるのを見た。所有  
者に守られていて富が、その人に害を加えることだ。  
14 その富は不幸な出来事で失われ、子どもが生まれて  
も、自分の手もとには何もない。  
15 母の胎から出て来たときのように、また裸でもとの  
所に帰る。彼は、自分の労苦によって得たものを、何  
一つ手に携えて行くことができない。  
16 これも痛ましいことだ。出て来たときと全く同じよ  
うにして去って行く。風のために労苦して何の益があ  
るだろう。  
17 しかし、人は一生、やみの中で食事をする。多くの  
苦痛、病氣、そして怒り。  
18 見よ。私がよいと見たこと、好ましいことは、神  
がその人に許されるいのちの日の数の間、日の下で骨折  
るすべての労苦のうちに、しあわせを見つけて、食べ  
たり飲んだりすることだ。これが人の受ける分なの  
だ。  
19 実に神はすべての人間に富と財宝を与え、これを楽  
しむことを許し、自分の受ける分を受け、自分の労苦  
を喜ぶようにされた。これこそが神の賜物である。  
20 こういう人は、自分の生涯のことをよくよと思わな  
い。神が彼の心を喜びで満たされるからだ。  
1 私は日の下で、もう一つの悪があ  
るのを見た。それは人の上に重くの  
しかかっている。  
2 神が富と財宝と誉れとを与え、彼の望むもので何一  
つ欠けたものがない人がいる。しかし、神は、この人  
がそれを楽しむことを許さず、外国人がそれを楽しむ  
ようにされる。これはむなしなこと、それは悪い病  
だ。  
3 もし人が百人の子どもを持ち、多くの年月を生き、  
彼の年が多くなっても、彼が幸いで満たされることな  
く、墓にも葬られなかったなら、私は言う、死産の子  
のほうが彼よりはましだと。  
4 その子はむなく生まれて来て、やみの中に去り、  
その名はやみの中に消される。  
5 太陽も見ず、何も知らずに。しかし、この子のほう  
が彼よりは安らかである。  
6 彼が千年の倍も生きて、しあわせな目に会わ  
なければ、両者とも同じ所に行くのではないか。  
7 人の労苦はみな、自分の口のためである。  
しかし、その食欲は決して満たされない。  
8 知恵ある者は、愚かな者より何がまさっているよう。  
人々の前で生き方を知っている貧しい人も、何がま  
さっているよう。  
9 目が見るところは、心があこがれることにまさる。  
これもまた、むなく、風を追うようなものだ。

利益は消える

死んだら終わり

消える終る



7 私は再び、日の下にむなしさのあるのを見た。  
8 ひとりぼっちで、仲間もなく、子も兄弟もない人がいる。それでも彼のいっさいの労苦には終わりがなく、彼の目は富を求めて飽き足ることがない。そして、「私はだれのために労苦し、楽しみもなくて自分を犠牲にしているのか。」とも言わない。これもまた、むなしさ、つらい仕事だ。

9 ふたりはひとりよりもまさっている。ふたりが労働すれば、良い報いがあるからだ。  
10 どちらかが倒れるとき、ひとりがその仲間を起こす。倒れても起こす者のいないひとりぼっちの人はかわいそうだ。

11 また、ふたりがいっしょに寝ると暖かいが、ひとりでは、どうして暖かくなろう。

12 もしひとりなら、打ち負かされても、ふたりなら立ち向かえる。三つ擦りの糸は簡単には切れない。

13 貧しくても知恵のある若者は、もう忠言を受けつけない年とつた愚かな王にまさる。

14 たとい、彼が牢獄から出て来て王になったにしても、たとい、彼が王国で貧しく生まれた者であったにしても。

15 私は、日の下に生息するすべての生きものが、王に代わって立つ後継の若者の側につくのを見た。  
16 すべての民には果てしがない。彼が今あるすべての民の先頭に立つても、これから後の者たちは、彼を喜ばないであろう。これもまた、むなしさ、風を追うようなものだ。

## 5

1 神の宮へ行くときは、自分の足に気をつけよ。近寄って聞くことは、

愚かな者がいけにえをささげるのにまさる。彼らは自分たちが悪を行なっていることを知らないからだ。

2 神の前では、軽々しく、心あせてことは出さな。神は天におられ、あなたは地にいるからだ。だから、ことばを少なくせよ。

3 仕事が多いと夢を見る。  
ことばが多いと愚かな者の声となる。

4 神に誓願を立てるときには、それを果たすのを遅らせてはならない。神は愚かな者を喜ばないからだ。誓ったことは果たせ。

5 誓って果たさないよりは、誓わないほうがよい。  
6 あなたの口が、あなたに罪を犯させないようにせよ。使者の前で、「あれは過失だ。」と言ってはならない。神が、あなたの言うことを聞いて怒り、あなたの手のわざを滅ぼしてもよいだろうか。

7 夢が多くなると、  
むなしなことばも多くなる。

ただ、神を恐れよ。

8 ある州で、貧しい者がしいたげられ、権利と正義がかすめられるのを見ても、そのことに驚いてはならない。その上役には、それを見張るもうひとりの上役がおり、彼らよりもっと高い者たちもいる。

9 何にもまして、国の利益は農地を耕させる王である。  
10 金銭を愛する者は金銭に満足しない。富を愛する者は収益に満足しない。これもまた、むなしさ。

11 財産がふえると、寄食者もふえる。持ち主にとって何の益になろう。彼はそれを目で見るだけだ。

12 働く者は、少し食べても多く食べても、こちよく眠る。富む者は、満腹しても、安眠をとどめられる。

13 私は日の下に、痛ましいことがあるのを見た。所有者に守られている富が、その人に害を加えることだ。  
14 その富は不幸な出来事で失われ、子どもが生まれても、自分の手もとには何も無い。

15 母の胎から出て来たときのように、また裸でもとの所に帰る。彼は、自分の労苦によって得たものを、何一つ手に携えて行くことができない。

16 これも痛ましいことだ。出て来たときと全く同じようにして去って行く。風のために労苦して何の益があるだろう。

17 しかも、人は一生、やみの中で食事をする。多くの苦痛、病氣、そして怒り。

18 見よ。私がよいと見たこと、好ましいことは、神がその人に許されるいのちの日の数の間、日の下で骨折るすべての労苦のうちに、しあわせを見つけて、食べたり飲んだりすることだ。これが人の受ける分なのだ。

19 実に神はすべての人間に富と財宝を与え、これを楽しむことを許し、自分の受ける分を受け、自分の労苦を喜ぶようにされた。これこそが神の賜物である。  
20 こういう人は、自分の生涯のことをよくよ思わない。神が彼の心を喜びで満たされるからだ。

## 6

1 私は日の下で、もう一つの悪があるのを見た。それは人の上に重くのしかかっている。

2 神が富と財宝と誉れとを与え、彼の望むもので何一つ欠けたものがない人がいる。しかし、神は、この人がそれを楽しむことを許さず、外国人がそれを楽しむようにされる。これはむなしさ、それは悪い病だ。

3 もし人が百人の子どもを持ち、多くの年月を生き、彼の年が多くなっても、彼が幸いで満たされることなく、墓にも葬られなかったなら、私は言う、死産の子のほうが彼よりはましだ。

4 その子はむなしさで生まれて来て、やみの中に去り、その名はやみの中に消される。

5 太陽も見ず、何も知らずに。しかし、この子のほうが彼よりは安らかである。

6 彼が千年の倍も生きて、しあわせな目に会わなければ、――両者とも同じ所に行くのではない。

7 人の労苦はみな、自分の口のためである。

8 しかし、その食欲は決して満たされない。

9 知恵ある者は、愚かな者より何がまさっているよう。人々の前で生き方を知っている貧しい人も、何がまさっているよう。

10 目が見るところは、心があこがれることにまさる。これもまた、むなしさ、風を追うようなものだ。



2 私はい言う。王の命令を守れ。神の誓約があるから。  
3 王の前からあわてて退出するな。悪事に荷担するな。  
王は自分の望むままを何でもするから。  
4 王のことはには權威がある。だが彼に、「あなたは何をしますのですか。」と言えようか。  
5 命令を守る者はわざわいを知らない。  
知恵ある者の心は時とさばきを知っている。  
6 すべての営みには時とさばきがある。人に降りかかるわざわいが多いからだ。  
7 何が起こるかを知っている者はいない。いつ起こるかをだれも告げることができない。  
8 風を支配し、風を止めることのできる人はいない。  
死の日も支配することはできない。この戦いから放免される者はいない。悪は悪の所有者を救えない。  
9 私はこのすべてを見て、日の下で行なわれるいっさいのわざ、人が人を支配して、わざわいを与える時間について、私の心を用いた。  
10 そこで、私は見た。悪者どもが葬られて、行くのを。しかし、正しい行ないの者が、聖なる方の所を去り、そうして、町で忘れられるのを。これもまた、むなししい。  
11 悪い行ないに対する宣告がすぐ下されないので、人の子らの心は悪を行なう思いで満ちている。  
12 罪人が、百度悪事を犯しても、長生きしている。しかし私は、神を恐れる者も、神を敬って、しあわせであることを知っている。  
13 悪者にはしあわせがない。その生涯を影のように長くすることはできない。彼らは神を敬わないからだ。  
14 しかし、むなししいことが地上で行なわれている。悪者の行ないに対する報いを正しい人がその身に受け、正しい人の行ないに対する報いを悪者がその身に受けることがある。これもまた、むなししい、と私は言いたい。  
15 私は快樂を賛美する。日の下では、食べて、飲んで、楽しむよりほかに、人にとって良いことはない。これは、日の下で、神が人に与える一生の間に、その労苦に添えてくださるものだ。  
16 私は一心に知恵を知り、昼も夜も眠らずに、地上で行なわれる人の仕事を見ようとしたりとき、  
17 すべては神のみわざであることがわかった。人は日の下で行なわれるみわざを見きわめることはできない。人は労苦して捜し求めても、見いだすことはない。知恵ある者が知っていると思っても、見きわめることはできない。  
9 1 というのは、私はこのいっさいを心に留め、正しい人も、知恵のある者も、彼らの働きも、神の御手の中にあることを確かめたからである。彼らの前にあるすべてのものが愛であるか、憎しみであるか、人にはわからない。

9 ーというの、私はこのいっさいを心に留め、正しい人も、知恵のある者も、彼らの働きも、神の御手の中にあることを確かめたからである。彼らの前にあるすべてのものが愛であるか、憎しみであるか、人にはわからない。



- 神の行方わかん  
業と見えてわかんとはてしなく...

- 知也
- 良義

正心・鬼  
知性・道徳

20 May

1519285

時

1/23-44  
40-2113

$\frac{1}{2} \frac{d}{dt} \left( \frac{1}{2} \frac{d}{dt} \right)$

17-44703113

神のみわたり

Full  
Burt H. H. H.

李邦彦



10 今あるものは、何であるか、すでにその名がつけられ、また彼がどんな人であるかも知られている。彼らは彼よりも力のある者と争うことはできない。  
11 多く語れば、それだけむなしさを増す。それは、人にとって何の益になるだろう。  
12 だが知ろうか。影のように過すむなしいつかのまの人生で、何が人のために善であるかを。だが人に告げることができようか。彼の後に、日の下で何が起るかを。

7

1 良い名声は良い香油にまさり、死の日は生まれる日にまさる。  
2 祝宴の家にいくよりは、喪中の家に行くほうがよい。  
3 そこには、すべての人の終わりがあり、生きている者がそれを心に留めるようになるからだ。  
4 悲しみは笑いにまさる。  
5 顔の曇りによって心は良くなる。  
6 知恵ある者の心は喪中の家に向き、愚かな者の心は楽しみ家に向く。  
7 知恵ある者の叱責を聞くのは、愚かな者の歌を聞くのにもまさる。  
8 愚かな者の笑い、なべの下のいばらがはじける音に似ている。  
9 これもまた、むなし。  
10 しいたげは知恵ある者を愚かにし、まいないは心を滅ぼす。  
11 事の終わりは、その初めにまさり、忍耐は、うぬぼれにまさる。  
12 軽々しく心をいらだててはならない。いらだちは愚かな者の胸にとどまるから。  
13 10「どうして、昔のほうが今より良かったのか」と言つてはならない。このような問いは、知恵によるのではない。  
14 資産を伴う知恵は良い。  
15 日を見る人に益となる。  
16 知恵の陰にいるのは、金銭の陰にいるようだ。  
17 知識の益は、知恵がその持ち主を生かすことにある。  
18 神のみわざに目を留めよ。神が曲げたものをだれがまっすぐにできようか。  
19 順境の日には喜び、逆境の日には反省せよ。これもあれも神のなさること。それは後の事を人にわからせないためである。



・神のみわざに目留めは。

正しい人生

いいだ。

語ること

トグ

15 私はこのむなし人生において、すべての事を見つけた。正しい人が正しいのに滅び、悪者が悪いのに長生きすることがある。  
16 あなたは正しすぎてはならない。知恵がありすぎてはならない。なぜあなたは自分を滅ぼそうとするのか。  
17 悪すぎてもいけない。愚かすぎてもいけない。自分の時が来ないのに、なぜ死のうとするのか。  
18 一つをつかみ、もう一つを手放さないがよい。神を恐れる者は、この両方を会得している。  
19 知恵は町の十人の権力者よりも知恵者を力づける。  
20 この地上には、善を行ない、罪を犯さない正しい人はひとりもないから。  
21 人の語ることばにいちいち心を留めてはならない。あなたのしもべがあなたをのろうのを聞かないためだ。  
22 あなた自身も他人を何度ものろったことを知っているからだ。  
23 私は、これらのいっさいを知恵によって試み、そして言った。「私は知恵ある者になりたい。」しかし、それは私の遠く及ばないことだった。  
24 今あることは、遠くで非常に深い。だがそれを見きわめることができよう。  
25 私は心を転じて、知恵と道理を学び、探り出し、捜し求めた。愚かな者の悪行と狂った者の愚かさを学びとろうとした。  
26 私は女が死よりも苦々しいことに気がついた。女はわなであり、その心は網、その手はかせである。神に喜ばれる者は女からのがれるが、罪を犯す者は女に捕えられる。  
27 見よ。「私は道理を見いだそうとして、一つ一つに当たり、見いだしたことは次のとおりである。」と伝道者は言う。  
28 私はなおも捜し求めているが、見いださない。私は千人のうちに、ひとりの男を見いだしたが、そのすべてのうちに、ひとりの女も見いださなかった。  
29 私が見いだした次の事だけに目を留めよ。神は人を正しい者に造られたが、人は多くの理屈を捜し求めたのだ。

8

1 だが知恵ある者にふさわしいだろう。だが事物の意義を知りえよう。  
2 人の知恵は、その人の顔を輝かし、その顔の固さを和らげる。

神のみわざに目留めは。神が曲げたものをだれがまっすぐにできようか。

知恵を本める

良い正しい知恵は終りを知っている。



終りの日が来る

神の知らせが知られない。



saying "here I am  
as Isaiah said in Isaiah 6  
Matt 28:19-20  
Get Camp 1/21/17

8

11  
あなたのパンを水の上に投げよ。  
ずつと後の日になって、  
あなたはそれを見いだそう。  
あなたの受ける分を七人か八人に分けておけ。  
地上でどんなわざわいが起こるか  
あなたは知らないからだ。  
雲が雨で満ちると、それは地上に降り注ぐ。  
木が南風や北風で倒されると、  
その木は倒れた場所にそのままにある。  
風を警戒している人は種を蒔かない。  
雲を見ている者は刈り入れをしない。  
あなたは妊婦の胎内の骨々のことと同様、風の道  
がどのようなものか知らない。そのように、あなた  
はいっさいを行なわれる神のみわざを知らない。  
朝のうちにあなたの種を蒔け。夕方にも手を放しては  
いけない。あなたは、あれか、これか、どこで成功す  
るのか、知らないからだ。二つとも同じようにうまく  
いくかもわからない。

12  
知恵ある者が口にすることばは優しく、  
愚かな者のくちびるはその身を滅ぼす。  
彼が口にすることばの始まりは、愚かなこと、  
彼の口の終わりは、みじめな狂気。  
愚かな者はよくしゃべる。  
人はこれから起こることを知らない。  
これから後に起こることを。  
だれが告げることができよう。  
愚かな者の労苦は、おのれを疲れさせる。  
彼は町に行く道さえ知らない。  
わざわいなことよ。  
あなたの王が子どもであって、  
あなたの首長たちが朝から食事をする国は。  
幸いなことよ。  
あなたの王が貴族の出であって、  
あなたの首長たちが、  
酔うためではなく、  
力をつけるために、  
定まった時に、食事をする国は。



若い



たはははは

3-4 107

信仰 faith  
希望 hope  
愛 love



12  
1 あなたの若い日に、あなたの創造  
者を覚えよ。わざわいの日が来ない  
うちに、また「何の喜びもない。」と言う年月が近づく  
前に。  
2 太陽と光、月と星が暗くなり、雨の後にまた雨雲が  
おおう前に。  
3 その日には、家を守る者は震え、力のある男たちは  
身をかため、粉ひき女たちは少なくなつて仕事をやめ、  
窓からながめている女の目は暗くなる。  
4 通りのとびらは閉ざされ、白をひく音も低くなり、  
人は鳥の声に起き上がり、歌を歌う娘たちはみなうな  
だれる。  
5 彼らはまた高い所を恐れ、道でおびえる。アーモン  
ドの花は咲き、いなごはのろろ歩き、ふうちようぼ  
くは花を開く。だが、人は永遠の家へと歩いて行き、  
嘆く者たちが通りを歩き回る。  
6 こうしてついに、銀のひもは切れ、金の器は打ち砕  
かれ、水がめは泉のかたわらで砕かれ、滑車が井戸の  
そばでこわされる。  
7 ちりはもとあつた地に帰り、霊はこれを下さつた神  
に帰る。

愚者はことばが多い。

来





2 私は言う。王の命令を守れ。神の誓約があるから。  
3 王の前からあわてて退出するな。悪事に荷担するな。  
王は自分の望むままを何でもするから。

4 王のことばには権威がある。だれが彼に、「あなたは  
何をしますのですか。」と言えようか。

5 命令を守る者はわざわいを知らない。  
知恵ある者の心は時とさばきを知っている。

6 すべての営みには時とさばきがある。人に降りか  
かるわざわいが多いからだ。

7 何が起るかを知っている者はいない。いつ起る  
かをだれも告げることができない。

8 風を支配し、風を止めることのできる人はいない。  
死の日も支配することはできない。この戦いから放免  
される者はいない。悪は悪の所有者を救いえない。

9 私はこのすべてを見て、日の下で行なわれるいっさ  
いのわざ、人が人を支配して、わざわいを与える時に  
ついて、私の心を用いた。

10 そこで、私は見た。悪者どもが葬られて、行くのを。  
しかし、正しい行ないの者が、聖なる方の方を去り、そ  
うして、町で忘れられるのを。これもまた、むなし。  
11 悪い行ないに対する宣告がすぐ下されないで、人  
の子らの心は悪を行なう思いで満ちている。

12 罪人が、百度悪事を犯しても、長生きしている。し  
かし私は、神を恐れる者も、神を敬って、しあわせで  
あることを知っている。

13 悪者にはしあわせがない。その生涯を影のように長  
くすることはできない。彼らは神を敬わないからだ。

14 しかし、むなししいことが地上で行なわれている。悪  
者の行ないに対する報いを正しい人がその身に受け、  
正しい人の行ないに対する報いを悪者がその身に受け  
ることがある。これもまた、むなししい、と私は言いた  
い。

15 私は快樂を賛美する。日の下では、食べて、飲んで、  
楽しむよりほかに、人にとって良いことはない。これ  
は、日の下で、神が人に与える一生の間に、その労苦  
に添えてくださるものだ。

16 私は一心に知恵を知り、昼も夜も眠らずに、地上  
で行なわれる人の仕事を見ようとしたとき、

17 すべては神のみわざであることがわかった。人は日  
の下で行なわれるみわざを見きわめることはできな  
い。人は労苦して探し求めても、見いだすことはない。  
知恵ある者が知っていると思っても、見きわめること  
はできない。

## 9

1 というのは、私はこのいっさいを  
心に留め、正しい人も、知恵のある  
者も、彼らの働きも、神の御手の中にあることを確か  
めたからである。彼らの前にあるすべてのものが愛で  
あるか、憎しみであるか、人にはわからない。

## 10

2 すべての事はすべての人に同じように起る。同じ  
結末が、正しい人にも、悪者にも、善人にも、きよい  
人にも、汚れた人にも、いけにえをささげる人にも、  
いけにえをささげない人にも来る。善人にも、罪人にも  
同様である。誓う者にも、誓うのを恐れる者にも同  
様である。

3 同じ結末がすべての人に来るということ、これは日  
の下で行なわれるすべての事のうちに最も悪い。だか  
ら、人の子らの心は悪に満ち、生きていて、その心  
には狂気が満ち、それから後、死人のところに行く。

4 すべて生きている者に連なっている者には希望が  
ある。生きている人は死んだ獅子にまさるからである。  
5 生きている者は自分が死ぬことを知っているが、死  
んだ者は何も知らない。彼らにはもはや何の報いもな  
く、彼らの呼び名も忘れられる。

6 彼らの愛も憎しみも、ねたみもすでに消えうせ、日  
の下で行なわれるすべての事において、彼らには、も  
はや永遠に受ける分はない。

7 さあ、喜んであなたのパンを食べ、  
愉快にあなたのぶどう酒を飲め。

神はすでにあなたの行ないを喜んでおられる。

8 いつもあなたは白い着物を着、  
頭には油を絶やしてはならない。

9 日の下であなたに与えられたむなししい一生の間  
に、あなたの愛する妻と生活を樂しむがよい。それが、  
生きている間に、日の下であなたがする労苦によるあ  
なたの受ける分である。

10 あなたの手もとにあるなすべきことはみな、自分の  
力でしなさい。あなたが行くこうとしているよみには、  
働きも企ても知識も知恵もないからだ。

11 私は再び、日の下を見たが、競走は足の早い人の  
ものではなく、戦いは勇士のものではなく、またパン  
は知恵ある人のものではなく、また富は悟りのある人  
のものではなく、愛顧は知識のある人のものではない  
ことがわかった。すべての人が時と機会に出会うから  
だ。

12 しかも、人は自分の時を知らない。悪い網にかかっ  
た魚のように、わなにかかった鳥のように、人の子ら  
もまた、わざわいの時が突然彼らを襲うと、それにか  
かってしまう。



13 私はまた、日の下で知恵についてこのようなことを見た。それは私にとって大きなことであった。  
14 わずかな人々が住む小さな町があった。そこに大王が攻めて来て、これを包囲し、これに対して大きなとりでを築いた。

15 ところが、その町に、貧しいひとりの知恵ある者がいて、自分の知恵を用いてその町を解放した。しかし、だれもこの貧しい人を記憶しなかった。

16 私は言う。「知恵は力にまさる。しかし貧しい者の知恵はさげすまれ、彼の言うことも聞かれぬ。」

17 知恵ある者の静かなことばは、

思かな者の間の支配者の叫びよりは、よく聞かれる。

知恵は武器にまさり、ひとりの罪人は多くの良いことを打ちこわす。

## 10

死んだはえは、調合した香油を臭くし、発酵させる。

少しの愚かさは、知恵や榮譽よりも重い。

知恵ある者の心は右に向き、愚かな者の心は左に向く。

愚かな者が道を行くとき、思慮に欠けている。

自分が愚かであることを、みなに知らせる。

支配者があなたに向かって立腹しても、

あなたはそれを離れてはならない。

冷静は大きな罪を犯さないようにするから。

私は、日の下に一つの愚があるのを見た。

それは権力者の犯す過失のようなものである。

愚かな者が非常に高い位につけられ、

富む者が低い席に着けられている。

私は奴隷たちが馬に乗り、

君主たちが奴隷のように地を歩くのを見た。

穴を掘る者はそれに落ち込み、石垣をくずす者は蛇にかまれる。

石を切り出す者は石で傷つき、木を割る者は木で危険にさらされる。

もし斧が鈍くなったとき、その刃をとがないうと、もっと力がいる。

しかし知恵は人を成功させるのに益になる。

もし蛇がまじないにからずにかみつくな、

それは蛇使いに何の益にもならない。

知恵ある者が口には優しく、

愚かな者のくちびるはその身を滅ぼす。

彼が口を閉ざさば、始まりは、愚かなこと、

彼の口の終わりは、みじめな狂気。

愚かな者はよくしゃべる。人はこれから起こることを知らない。

これから後に起こることをだれが告げることができよう。

愚かな者の労苦は、おのれを疲れさせる。

彼は町に行く道さえ知らない。

わざわいなことよ。あなたの王が子どもであって、

あなたの首長たちが朝から食事をする国は。

幸いなことよ。あなたの王が貴族の出であって、

あなたの首長たちが、酔うためではなく、

力をつけるために、定まった時に、食事をする国は。

なまけていると天井が落ち、手をこまねいていると雨漏りがする。

食事をするのは笑うため。ぶどう酒は人生を楽しませる。

金銭はすべての必要に応じる。

王をのろおすと、ひそかに思ってはならない。

寝室でも富む者をのろってはならない。

なぜなら、空の鳥がその声を持ち運び、

翼のあるものがそのことを告げるからだ。

## 11

1 あなたのパンを水の上に投げよ。

2 ずつと後の日になって、

あなたはそれを見いだそう。

3 あなたの受ける分を七人か八人に分けておけ。

4 地上でどんなわざわいが起こるか

あなたは知らないのだから。

5 雲が雨で満ちると、それは地上に降り注ぐ。

6 木が南風や北風で倒されると、

その木は倒れた場所にそのままにある。

7 雲を見ていて人は種を蒔かない。

8 あなたは妊婦の胎内の骨々のことと同様、風の道

がどのようなかを知らない。そのように、あなたは

いつさいを行なわれる神のみわざを知らない。

9 朝のうちにあなたの種を蒔け。夕方まで手を放しては

いけない。あなたは、あれか、これか、どこで成功す

るのか、知らないからだ。二つとも同じようにうまく

いくかもわからない。

10 光は快い。太陽を見ることは目のために良い。

11 人は長年生きて、ずつと楽しむがよい。だが、やみの

日も数多くあることを忘れてはならない。すべて起

こることはみな、むなし。

12 若い男よ。若いうちに楽しめ。若い日にあなたの心を

を喜ばせよ。あなたの心のおもむくまま、あなたの目の

望むままに歩め。しかし、これらすべての事において、

あなたは神のさばきを受けることを知っておけ。

13 だから、あなたの心から悲しみを除き、あなたの

肉体から痛みを取り去れ。若さも、青春も、むなし

からだ。

## 12

1 あなたの若い日に、あなたの創造

者を覚えよ。わざわいの日が来ない

うちに、また

2 太陽と光、月と星が暗くなり、雨の後にまた雨雲が

おおう前に。

3 その日には、家を守る者は震え、力のある男たちは

身をかがめ、粉ひき女たちは少なくなつて仕事をやめ、

窓からながめている女の目は暗くなる。

4 通りのとびらは閉ざされ、白をひく音も低くなり、

人は鳥の声に起き上がり、歌を歌う娘たちはみなうな

だれる。

5 彼らはまた高い所を恐れ、道でおびえる。アーモン

ドの花は咲き、いなごはのろろ歩き、ふうちようぼ

くは花を開く。だが、人は永遠の家へと歩いて行き、

嘆く者たちが通りを歩き回る。

6 こうしてついに、銀のひもは切れ、金の器は打ち砕

かれ、水がめは泉のかたわらで砕かれ、滑車が井戸の

そばでこわされる。

7 ちりはもとあつた地に帰り、霊はこれを下さつた神

に帰る。